

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0123001A1	日本国憲法 (A)	大塚 浩	生活環境学部	前期 水曜日 3・4時限 S 2 3 5 大講義室	講義	1年次以上	2時間	2単位	日本国憲法の基本的な人権と統治機構に関する部分を解説する。人権規定は国家と個人の関係に関する規範であり、国家や社会との関係において守られなければならない個人の価値とはいかなるものであるのか、講義を通して理解することを目指す。この授業では人権規定を中心に扱うが、統治機構の基礎についても学ぶ。 理解をより深めるため、毎回その回に学んだ内容に関連する小テストに取り組んでもらう。 また、ビデオ教材も適宜活用する予定である。
0123002A1	日本国憲法 (B)	中里見 博	非常勤講師	後期 木曜日 1・2時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	○この授業では、「日本国憲法」について、基本的な事柄を講義する。 ○日本国憲法制定の特殊な歴史について講義する。 ○日本国憲法の最大の特徴である「平和主義」の意義と歴史、現在点について講義する。 ○憲法が保障する基本的な人権をめぐる諸問題について講義する。とくに平等と差別、表現の自由とヘイトスピーチについて論じる。 ○人権保障と裁判所の関係、司法の独立について講義する。 ○民主主義を保障・実現するための諸問題（選挙や政党）を講義する。
0123003A1	人権と差別	鴨 浩靖, 駒谷 昇一, 田中 雅子, 藤田 盟児, 吉田 容子, 吉村 智博, 渡邊 利雄, 小川 伸彦	文学部 他	後期 水曜日 3・4時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	専門を異にする8名の教員が分担するオムニバス形式の授業により、人権と差別をめぐるさまざまな課題について、それぞれの視点から講義を行います。取りあげるテーマは、情報、ジェンダー／女性、国際社会、部落史といった身近で今日的な課題と、4学部各々の学問領域の視点から考える課題についてです。こうした各論的なテーマを、受講生の皆さんが有機的に結びつけて、「人権と差別」の問題を多角的に考察し、総論を構築することを目指します。
0124001A1	いのちと健康	白水 倫生	保健管理センター	前期 月曜日 3・4時限 S 2 3 5 大講義室	講義	1年次以上	2時間	2単位	中心テーマは「いのちの重要性」である。女性が健康に生きる上で必須となる事項を選び講義をおこなう。この講義を通じて、自分のいのちを守るだけでなく周囲の健康をも守る知識を学習する。生活習慣病、ストレス関連疾患の他に性感染症などゲストスピーカーによる特別講義も含む。これらを通じて社会人として生きる上での基礎力となるべき健康に関する知識を学習する。
0124002A1	生活と健康	白水 倫生	保健管理センター	後期 月曜日 3・4時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	中心となるテーマは前期の「いのちと健康」と同様に、「いのちの重要性」である。発達・成長・老化に伴う疾患や健康・社会問題についての講義を行い、問題提起に対して簡単なワークショップを行う。またゲストスピーカーによる特別講義では、女性の健康に重要なテーマを取り上げ、自分自身や家族を守るのに必要な知識の習得を促す。これにより自分の健康を大切にするとともに周囲にも正しい知識を提供しうる学士力を持つ学生を育成する。
0123004A1	ジェンダー論入門	澤田 佳世, 三部 倫子, 高岡 尚子, 松岡 由貴, 山崎 明子, 林田 敏子	生活環境学部 他	前期 金曜日 9・10時限 S 2 3 5 大講義室	講義	1年次以上	2時間	2単位	本学専任教員とゲストによるリレー講義で、日常生活のさまざまな事象を「ジェンダー」の視点から読み解きます。私達の身の回りのできごとー家族、学問や科学、アート、ことばや会話、文学、政治・法律などのあらゆる場面ーに「ジェンダー」が影響を及ぼしています。高校までには習わなかった「ジェンダー」の概念を用いて見直してみると、世界がこれまでとは違って見えるようになるでしょう。
0124003A1	共生科学	酒井 敦, 高田 将志, 三方 裕司, 村松 加奈子, 藤平 眞紀子	文学部 他	後期 月曜日 1・2時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	共生科学研究センターが標榜している学問「共生科学」を物質から地球環境までを視野に入れて考える。自然と人間との共生のための化学物質の在り方や木材と私たちの暮らし、河川環境と人間社会、生物からみた共生、人間社会と地球規模の環境問題、などについて講義とフィールドワークを行う。
0121001A1	「奈良」女子大学入門	西村 さとみ	文学部	前期 水曜日 5・6時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	奈良女子大学で学び、安全で充実したキャンパスライフを送るために必要不可欠な内容をオムニバス形式で講義します。新入生は是非履修してください。 学長、学部長からのメッセージのほか、本学の歴史や男女共同参画社会推進のための取組、本学教員が取り組む企業や自治体との共同研究を紹介します。あなたのキャリアプランを奈良からスタートしましょう。
0122002A1	アジア学入門	青木 美紗, 浅田 晴久, 西村 雄一郎, 平野 綾香, 松岡 悦子, 矢島 洋一, 高須 夫悟	理学部 他	前期 火曜日 5・6時限 N 3 0 2, 前期 火曜日 5・6時限 S 2 3 5 大講義室	講義	1年次以上	2時間	2単位	現代世界におけるアジアのプレゼンスは近年ますます大きくなっており、今後もその重要性が増していくことは疑いない。その理解にはアジア各地の文化や社会の多様性を把握することが必要不可欠である。幸い本学には、アジアの広い地域をカバーできるだけの研究者が存在する。本講義では、それら専門家のオムニバス形式で、アジア諸国の基本情報からより深く突っ込んだ研究成果まで、様々な角度から教授する。本学はアジア諸国の大学と交流が盛んなので、新たな交流の担い手を育てたい。
0122003A1	アラビアの言語と文化	矢島 洋一	文学部	後期 火曜日 5・6時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	標準アラビア語（フスハー）の入門授業を行う。特にリーディングに重点を置く。文字と発音から始めて、簡単な文章が理解できるようになることを目指す。
0122004A1	ベトナムの言語と文化	平野 綾香	非常勤講師	後期 火曜日 5・6時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	初めてベトナム文化・ベトナム語に触れる学生を対象に、ベトナム語の発音、文法の基礎の習得を目的とした授業を行います。挨拶や自己紹介などの言語表現を通して、そこに表れるベトナムの文化や習慣等を解説します。

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0121002A1	考える力をみがく	杉山 晋平	非常勤講師	前期 月曜日 3・4時限 N 2 0 2	講義	1年次以上	2時間	2単位	<p>皆さんは、これまでどのような学問に触れ、そこで何を感じ、考えてきましたか。奈良女子大学の教養教育の理念「5つの問い」と「7つのアプローチ」にある通り、生きた知とは、つねに「考える」という営みとともにあります。それは、完成された知識を丸飲みするようなことではなく、自ら考え、ともに実践しながら問いを深め、知識に血を通わせていく営みを意味しています。</p> <p>本科目では、この考えるという営みを支える「技」や「術」をとりあげます。私たちは、実に多くの情報や知識を結びつけたり、さまざまな道具を活用したり、他者と力を合わせながら、自らの思考を深めています。皆さんが本学での学修や日常生活を通じて取り組んでいきたいテーマについて、これからどのように自らの思考を広げ深めていくことができるか、その「技」や「術」をともに学んでいきましょう。</p> <p>授業では、入学後に触れた学問の経験やそれぞれの興味・関心、日常の大学生活の中からテーマをピックアップし、それらをもとに思考を深める演習活動に取り組みます。さらに、そのような自分たちの演習活動を振り返りながら、思考を支える「技」や「術」について講義を進めていきます。</p>
0121003A3	これからの社会で生きるために	戸城 杏奈, 森田 芳文, 吉田 香穂, 駒谷 昇一	工学部 他	不定期 その他 その他 S 2 3 5 大講義室	講義	3年次以上	集中15時間	1単位	<p>「労働法の基礎知識」「金融の基礎知識」「情報倫理・セキュリティ」「学術研究の社会的意義と責任」の四つのテーマについて、社会の第一線で活躍している実務家の方々に講師としておいていただき、そのお話を伺った後に議論します。皆さんが大学で学んだ後、社会に出たときに必要とされる知識を身につけ、そこで直面する問題について考えることを通じて、これからの社会で働き、生活し、学びつづけるための準備をします。</p>
0121004A1	諸学への誘い	芝崎 学, 立松 麻衣子, 中山 留美子, 橋崎 頼子, 小川 伸彦	文学部 他	前期集中 その他 その他	講義	1年次以上	集中15時間	1単位	<p>【概要】大学とは学問を深め、知を産み出す場所です。ではそもそも学問とは何なのか…。それを体感すべく、集中講義形式で学問の面白さや奥深さを感じることでできる科目がこの「諸学への誘い（いざない）」です。学外からの贅沢な講師陣も交えた、さまざまな分野の専門家が1コマずつ登壇（2023年度は15名）します。興味や関心を深めるもよし。新しい分野の扉を叩くもよし。自在に組み合わせる8コマ以上を受講し、自分なりの知的世界を構築するためのヒントや刺激に出会ってください。奈良女子大学と奈良教育大学が共同で開講する科目ですので、両学の学生が受講します。オンライン受講も可能です。</p> <p>【重要なお知らせ】本科目は、毎年度、内容が完全にリニューアルされます。昨年度に続き2度目の履修でも、教養科目群の単位として新たに認定されますので、積極的に受講してください。</p>
全学教育が「トク」の一覧参照	コンプリヘンシブ・イングリッシュ（13-24）		全学教育が「トク」の一覧参照		実習	全学教育が「トク」の一覧参照	2時間	1単位	<p>学部横断・習熟度別で編成された英語クラスである。高校までの英語学習を基礎に、文法・語彙・語法などの基礎的知識を確かなものとし、特に、英語で情報を受信する力（読む力（reading）や聞く力（listening））を養う。本授業内容は、各種英語検定試験の文法・語法、長文、聞き取り問題に対応する能力の育成にも繋がる。</p>
全学教育が「トク」の一覧参照	コンプリヘンシブ・イングリッシュ（1-12）		全学教育が「トク」の一覧参照		実習	全学教育が「トク」の一覧参照	2時間	1単位	<p>学部横断・習熟度別で編成された英語クラスである。高校までの英語学習を基礎に、文法・語彙・語法などの基礎的知識を確かなものとし、特に、英語で情報を受信する力（読む力（reading）や聞く力（listening））を養う。本授業内容は、各種英語検定試験の文法・語法、長文、聞き取り問題に対応する能力の育成にも繋がる。</p>
全学教育が「トク」の一覧参照	ブラクティカル・イングリッシュ（29-56）		全学教育が「トク」の一覧参照		実習	全学教育が「トク」の一覧参照	2時間	1単位	<p>学部横断・習熟度別・少人数（1クラス20名以下）で編成された1回生向け英語クラスである。高校までの英語学習を基礎に、特に、英語で情報を発信する力（書く力（writing）や話す力（speaking））を養う。英語での表現活動に対し、きめ細かいフィードバックを与え、実践的英語力の向上を目指す。本授業内容は、各種英語検定試験の作文や会話問題に対応する能力の育成にも繋がる。</p>
全学教育が「トク」の一覧参照	ブラクティカル・イングリッシュ（1-28）		全学教育が「トク」の一覧参照		実習	全学教育が「トク」の一覧参照	2時間	1単位	<p>学部横断・習熟度別・少人数（1クラス20名以下）で編成された1回生向け英語クラスである。高校までの英語学習を基礎に、特に、英語で情報を発信する力（書く力（writing）や話す力（speaking））を養う。英語での表現活動に対し、きめ細かいフィードバックを与え、実践的英語力の向上を目指す。本授業内容は、各種英語検定試験の作文や会話問題に対応する能力の育成にも繋がる。</p>
全学教育が「トク」の一覧参照	アカデミック・イングリッシュ（11-20）		全学教育が「トク」の一覧参照		実習	全学教育が「トク」の一覧参照	2時間	1単位	<p>学部横断・習熟度別で編成された英語クラスである。1年次の「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」で培った受信する力を更に発展させ、時事的・学術的・文化的話題等、多様な話題に柔軟に対応するための読む力（reading）や聞く力（listening）を養う。TOEFLをはじめとする各種英語検定試験のリーディング／リスニングセッションに対応する能力の育成にも繋がる授業である。</p>
全学教育が「トク」の一覧参照	アカデミック・イングリッシュ（1-10）		全学教育が「トク」の一覧参照		実習	全学教育が「トク」の一覧参照	2時間	1単位	<p>学部横断・習熟度別で編成された英語クラスである。1年次の「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」で培った受信する力を更に発展させ、時事的・学術的・文化的話題等、多様な話題に柔軟に対応するための読む力（reading）や聞く力（listening）を養う。TOEFLをはじめとする各種英語検定試験のリーディング／リスニングセッションに対応する能力の育成にも繋がる授業である。</p>
全学教育が「トク」の一覧参照	プレゼンテーション・イングリッシュ（20-38）		全学教育が「トク」の一覧参照		実習	全学教育が「トク」の一覧参照	2時間	1単位	<p>学部横断・習熟度別・少人数で編成された英語クラスである。1年次の「ブラクティカル・イングリッシュ」で培った発信力を更に発展させ、英語によるスピーチやプレゼンテーションを効果的に行うための力を養う。併せて、聞き手としての力（英語による発表を的確に理解し、英語で質問・コメント等をする力）を育む。TOEFLをはじめとする各種英語検定試験のライティング／スピーキングセッションに対応する能力の育成にも繋がる授業である。</p>
全学教育が「トク」の一覧参照	プレゼンテーション・イングリッシュ（1-19）		全学教育が「トク」の一覧参照		実習	全学教育が「トク」の一覧参照	2時間	1単位	<p>学部横断・習熟度別・少人数で編成された英語クラスである。1年次の「ブラクティカル・イングリッシュ」で培った発信力を更に発展させ、英語によるスピーチやプレゼンテーションを効果的に行うための力を養う。併せて、聞き手としての力（英語による発表を的確に理解し、英語で質問・コメント等をする力）を育む。TOEFLをはじめとする各種英語検定試験のライティング／スピーキングセッションに対応する能力の育成にも繋がる授業である。</p>
全学教育が「トク」の一覧参照	ドイツ語 I A（5-16）		全学教育が「トク」の一覧参照		実習	全学教育が「トク」の一覧参照	2時間	1単位	<p>理学部・生活環境学部・工学部向け（各クラス指定）のドイツ語初級文法。週1回1年間の授業を通じて、ドイツ語の発音から接続法にいたるまで、基本的な文法構造について講義する。</p>
全学教育が「トク」の一覧参照	ドイツ語 I A（1-4）		全学教育が「トク」の一覧参照		実習	全学教育が「トク」の一覧参照	2時間	1単位	<p>文学部向け（クラス指定）のドイツ語初級文法。週2回半年間の授業を通して、ドイツ語の発音から接続法にいたるまで、基本的な文法構造について講義する。</p>
全学教育が「トク」の一覧参照	ドイツ語 I B（5-16）		全学教育が「トク」の一覧参照		実習	全学教育が「トク」の一覧参照	2時間	1単位	<p>理学部・生活環境学部・工学部向け（各クラス指定）のドイツ語初級コミュニケーション。週1回1年間の授業を通じて、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション及び読解について講義する。</p>

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
全学教育が「トク」 を一言参照	ドイツ語ⅠB（1-4）		全学教育が「トク」 を一言参照		実習	全学教育が「トク」 を一言参照	2時間	1単位	文学部向け（クラス指定）のドイツ語初級コミュニケーション。すべての授業をドイツ人・スイス人教員が担当し、徹底した練習を通じて実用的ドイツ語運用能力の基礎を養う。
全学教育が「トク」 を一言参照	ドイツ語ⅡA（5-6）		全学教育が「トク」 を一言参照		実習	全学教育が「トク」 を一言参照	2時間	1単位	理学部・生活環境学部・工学部向けの、文法を主体としたドイツ語中級。ドイツ語Ⅰを履修済みであれば、学部・学年を問わず受講可能です。ぜひどうぞ。 ⅡA（5）（前期）とⅡA（6）（後期）は、片方だけの受講も有益です。
全学教育が「トク」 を一言参照	ドイツ語ⅡA（1-4）		全学教育が「トク」 を一言参照		実習	全学教育が「トク」 を一言参照	2時間	1単位	文学部向け（クラス指定）のドイツ語「中級」。ドイツ語ⅠAの基礎の上に立ち、中級レベルのドイツ語運用に必要な文法知識や語彙について演習する。
全学教育が「トク」 を一言参照	ドイツ語ⅡB（5-6）		全学教育が「トク」 を一言参照		実習	全学教育が「トク」 を一言参照	2時間	1単位	理学部・生活環境学部・工学部向けのコミュニケーションを主体としたドイツ語中級の授業。 ドイツ語Ⅰを履修済みであれば、学部・学年を問わず受講可能です。 ぜひどうぞ。 ⅡB（5）（前期）とⅡB（6）（後期）は、継続して授業が行われるので、両方を受講することが望ましい。
全学教育が「トク」 を一言参照	ドイツ語ⅡB（1-4）		全学教育が「トク」 を一言参照		実習	全学教育が「トク」 を一言参照	2時間	1単位	文学部向け（クラス指定）のドイツ語「中級コミュニケーション」。すべての授業をドイツ人・スイス人教員が担当し、徹底した練習を通じて実用的ドイツ語運用能力を養う。
0111248D2	ドイツ語Ⅲ	児玉 麻美	文学部	前期 月曜日 3・4時限 A204	実習	2年次以上	2時間	1単位	この授業は、原則として、ドイツ語Ⅰ及びドイツ語Ⅱを4単位ずつ履修済みの学生を対象に、ドイツ語のさらに高度な総合的能力の養成をめざす。学部や専門を問わず、もっとドイツ語を学びたいという人向けの授業。今年度は「読む」「聞く」ことに重点を置いた教材を使用するが、それ以外の技能についてもバランスよく訓練する。
0111249D2	ドイツ語Ⅳ	児玉 麻美	文学部	後期 月曜日 3・4時限	実習	2年次以上	2時間	1単位	この授業は、原則として、ドイツ語Ⅰ及びドイツ語Ⅱを4単位ずつ履修済みの学生を対象に、ドイツ語のさらに高度な総合的能力の養成をめざす。学部や専門を問わず、もっとドイツ語を学びたいという人向けの授業。今年度は「読む」「聞く」ことに重点を置いた教科書を使用するが、それ以外の技能についてもバランスよく訓練する。
全学教育が「トク」 を一言参照	フランス語ⅠA（5-10）		全学教育が「トク」 を一言参照		実習	全学教育が「トク」 を一言参照	2時間	1単位	この授業では日本人の学生ミカがフランスの首都パリと、南西部のワインで有名な都市ボルドーを旅するエピソードの教科書を使います。授業の第一目標はフランス語の実力を培うための基礎となる文法を学ぶことにありますが、ミカの体験を通じた実践的なフランス語の会話や表現も勉強することができます。フランス語の文法は初めのうちは複雑でとらえどころがないように見えますが、数学の体系のように整然と構築されているので、その構造の一貫性や整合性を見いだしてもらえればと思います。また文法と共にフランス語独特の発音や、フランスの文化についての知識を得て、英語文化圏とは違った個性を持つ文化への理解を深めて、世界を広げてもらいたいと思います。
全学教育が「トク」 を一言参照	フランス語ⅠA（1-4）		全学教育が「トク」 を一言参照		実習	全学教育が「トク」 を一言参照	2時間	1単位	文法を中心に、フランス語ということばの仕組みを学び、実際に使って練習しながら、英語とは違うフランス語独特のものの見方や考え方を身に付けてもらいます。前期は特に発音練習からスタートし、フランス語の「フランス語らしさ」がどこから生まれるかについて、ていねいに説明していきますので、楽しんで参加してください。使用する教科書は自習もできるように考えられた取り組みやすいテキストですので、有効に使ってください。また、週2回の授業が同一の教師の担当となっているので、全学教育ガイドに示されたクラス分けをよく確認して、間違いのないように履修登録してください。
全学教育が「トク」 を一言参照	フランス語ⅠB（5-10）		全学教育が「トク」 を一言参照		実習	全学教育が「トク」 を一言参照	2時間	1単位	日常生活に役立つ表現を学びながら、フランス語の基礎を習得するための授業を行います。オンライン授業の場合がありますので、LMSの連絡を確認するようにしてください。授業は以下の順に進めます。 予習：予習動画を視聴。また、ダウンロードした音声を読み、イラストとともにテキストを眺めてください。 講義：発音練習、グループで会話練習、簡単な文法確認、応用練習 復習：暗唱、課題 まず、注意深く聴き、間違いを恐れずに発音することが基本です。フランス語はそれ自体、とても魅力的な言語です。また、ことばは新しい世界に触れるひとつの道具でもあります。フランス語圏の文化や社会にも興味を持ちましょう。講義の中でも随時紹介していきたいです。何よりも、積極的に授業に参加し、フランス語を聴き、発音し、楽しんでください。
全学教育が「トク」 を一言参照	フランス語ⅠB（1-4）		全学教育が「トク」 を一言参照		実習	全学教育が「トク」 を一言参照	2時間	1単位	視聴覚教材によって、フランス語の基本的な表現を学びながら、実際に使えるコミュニケーション能力を身につけていきます。フランスでの生活に必要な社会・文化についての基礎的な内容についても説明しますので、楽しんで授業に参加してください。 フランス人教員と日本人教員の組み合わせで週2コマ履修するので、『全学教育ガイド』のクラス分けに注意して履修登録してください。
全学教育が「トク」 を一言参照	フランス語ⅡA（5-6）		全学教育が「トク」 を一言参照		実習	全学教育が「トク」 を一言参照	2時間	1単位	これまでに学んだフランス語の基礎をもとに、フランス語での自然な表現や文化など、さまざまな知識を身に付けることを目標とした授業を行います。オンライン授業の場合がありますので、LMSの連絡を確認するようにしてください。 教材は、実用を重視した会話文、文法事項の確認、練習問題、アクティビティ、読解という構成になっています。これらの課題にじっくりと着実に取り組むことで、生きたフランス語の読み・書き・話す・聞くという言語の4技能をバランスよく学ぶことができます。また、フランス文化に関するWebサイトや映画、楽曲なども鑑賞します。

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
全学教育が「付」クリス一覧参照	フランス語Ⅱ A (1-4)		全学教育が「付」クリス一覧参照		実習	全学教育が「付」クリス一覧参照	2時間	1単位	文法を中心に、フランス語ということばの仕組みを学び、実際に使って練習しながら、英語とは違うフランス語独特のものの見方や考え方を身に付けてもらいます。後期は特に動詞の時制と法の意義など、より複雑な文の構造について、ていねいに説明していきます。教科書を有効に使い、辞書の使い方にも親しんでもらいます。テキストを学び終えたら、それまでに学習した語学的な知識を使い、日本でもよく知られたフランスの物語や歌の読解に挑戦しましょう(プリント配布)。
全学教育が「付」クリス一覧参照	フランス語Ⅱ B (5-6)		全学教育が「付」クリス一覧参照		実習	全学教育が「付」クリス一覧参照	2時間	1単位	フランス人教師と、最新の視聴覚教材Totem 2を使って、フランス語でコミュニケーションをしながら授業を進める。文学部の2年次以上の学生も、外国語科目の単位には認められないが、ブラッシュアップのために受講することを歓迎する。テレビドラマのようなビデオとともに、フランス語を身に付け、フランス文化にふれることができる。ビデオも全編オールロケで、主人公たちの住むアパートマン、通うレストランやブティックまですべてがリアル。生徒用教材に標準でDVD-ROMが添付されている。ビデオは全編ナントで撮影。すべてのビデオと音声収録されている。積極的に活用して欲しい。
全学教育が「付」クリス一覧参照	フランス語Ⅱ B (1-4)		全学教育が「付」クリス一覧参照		実習	全学教育が「付」クリス一覧参照	2時間	1単位	視聴覚教材によって、フランス語の基本的な表現を学びながら、実際に使えるコミュニケーション能力を身につけていきます。フランスでの生活に必要な社会・文化についての基礎的な内容についても説明しますので、楽しんで授業に参加してください。フランス人教員と日本人教員の組み合わせで週2コマ履修するので、『全学教育ガイド』のクラス分けに注意して履修登録してください。
0111332D2	フランス語Ⅲ	森田 俊吾	文学部	前期 水曜日 1・2時限 S棟2階 LL3	実習	2年次以上	2時間	1単位	時事フランス語の文章を通してフランスの政治・社会・歴史・文化を学ぶ 初級フランス語を終えた学習者を対象に、フランス語で書かれた長文を読んでいます。文法の復習も交えながら、文法知識を自分自身の言葉できちんと説明できるようにすることを目指します。トピックは環境問題、漫画、ジェンダーなど、受講者自身の日常生活とも関連するものを用意しています。
0111333D2	フランス語Ⅳ	森田 俊吾	文学部	後期 水曜日 1・2時限	実習	2年次以上	2時間	1単位	時事フランス語の文章を通してフランスの政治・社会・歴史・文化を学ぶ 前期と同じく、フランス語で書かれた長文を読んでいます。基礎文法の復習も交えながら、文法知識を自分自身の言葉できちんと説明できるようにすることを目指します。トピックは環境問題、漫画、ジェンダーなど、受講者自身の日常生活とも関連するものを用意しています。
0111400D1	スペイン語初級Ⅰ	松田 侑子	非常勤講師	前期 水曜日 3・4時限 E102	実習	1年次以上	2時間	1単位	初学者を対象として、初級文法を軸にした学習を行い、あわせて基礎的な語彙や表現についても学ぶ。それらの学習を通して、平易なスペイン語を理解・表現する(具体的には、発音と綴りのルール、性数一致、動詞活用、人称代名詞などの文法事項を理解・記憶し運用する、簡単な会話や文章を理解する等の)力を養成する。
0111401D1	スペイン語初級Ⅱ	松田 侑子	非常勤講師	後期 水曜日 3・4時限	実習	1年次以上	2時間	1単位	スペイン語初級Ⅰを修得済みの学生を対象として、初級文法の学習をさらに進め、あわせて基礎的な語彙や表現についても学ぶ。それらの学習を通して、スペイン語を理解・表現する(具体的には、直説法および接続法の各時制の動詞活用と用法、あるいは、関係詞や比較表現などの文法事項を理解・記憶し運用する、様々な文法・語彙・表現が登場する会話や文章を理解する等の)力を養成する。
0111402D2	スペイン語中級Ⅰ	松田 侑子	非常勤講師	前期 水曜日 1・2時限 E102	実習	2年次以上	2時間	1単位	スペイン語初級Ⅰ・Ⅱを修得済みの学生を対象として、より高度な文法・語彙・表現を学習する。同時に、それらを駆使してスペイン語を理解・表現する(具体的には、スペイン語の会話を理解する、スペイン語で作文する、スペイン語で書かれた長文を読解し和訳する)力を養成する。
0111403D2	スペイン語中級Ⅱ	松田 侑子	非常勤講師	後期 水曜日 1・2時限	実習	2年次以上	2時間	1単位	スペイン語初級Ⅰ・Ⅱおよび中級Ⅰを修得済みの学生を対象として、より高度な文法・語彙・表現を学習する。同時に、それらを駆使してスペイン語を理解・表現する(具体的には、スペイン語の会話を理解する、スペイン語で作文する、スペイン語で書かれた長文を読解し和訳する)力を養成する。
全学教育が「付」クリス一覧参照	中国語Ⅰ(J-U)		全学教育が「付」クリス一覧参照		実習	全学教育が「付」クリス一覧参照	2時間	1単位	中国語の音声を聞き、発音すること、そして「ピンイン」(ローマ字による発音表記)を正確に理解することからはじめ、反復練習によって、中国語の発音を確実に身につける。さらに、基本的な文法事項や単語を学び、簡単な作文や会話ができる力を養う。授業では、2コマの担当教員間の連絡を密にとり、共通の教科書を用いて、効果的な学習を進める。自宅学習では、発音練習や文法の復習が必須。耳や口を鍛えて、中国語の基礎をマスターしよう。
全学教育が「付」クリス一覧参照	中国語Ⅰ(A-H)		全学教育が「付」クリス一覧参照		実習	全学教育が「付」クリス一覧参照	2時間	1単位	文学部1年次を主たる対象に、週4コマの授業で共通のテキストを用いて、入門・初級段階の中国語を学習する。入門段階で重要なのは、発音。中国語の音を表記する「ピンイン」(ローマ字による発音表記)のしくみを学び、正確な発音ができるまで繰り返し練習する。音を発し、聴く訓練を通じて、漢字表記に頼らない、外国語としての中国語学習の基礎を固める。初級段階では、基本的な文法構造を学ぶとともに、基本単語を覚え、簡単な作文や会話の練習をする。よって、授業後の復習は必須。半年で、中国語の根幹部分を(頭で理解するだけでなく、目・耳・口・手をフルに使って)体得してほしい。 ※木曜の中国語Ⅰ(C)、中国語Ⅰ(H)では全員ノートPC(スマホ不可)とヘッドセット(マイク付きイヤホンなど)を持参。対面を基本とするが、受講者数によっては1コマ分の授業を45分ずつ、2グループに分けて実施する(45分の空き時間ができるが、これはオンデマンド授業の受講時間に相当する)こともある。ノートPCを持っていない人は履修登録前に申し出てください。
全学教育が「付」クリス一覧参照	中国語Ⅱ(J-K)		全学教育が「付」クリス一覧参照		実習	全学教育が「付」クリス一覧参照	2時間	1単位	週2コマの中国語Ⅰを履修した者を対象として、初級で学んだ中国語の文法事項を復習しながら、さまざまな表現を学習して読解力を高めることを目的とし、中国の社会的・文化的背景への理解を深める。

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
全学教育が「付」クリス一覧参照	中国語Ⅱ（A－H）		全学教育が「付」クリス一覧参照		実習	全学教育が「付」クリス一覧参照	2時間	1単位	中国語Ⅰで学習した発音・初級文法を基礎として、Ⅱでは多種多様な中国語の文章を多読し、辞書の使い方に習熟し読解力を高める。後期は、4つの授業がそれぞれ異なる目的をもって開講され、全体として中国語の諸能力をバランスよく養成する。検定試験に関する指導も随時行う。 ※木曜の中国語Ⅱ(C)、中国語Ⅱ(H)では全員ノートPC（スマホ不可）とヘッドセット（マイク付きイヤホンなど）を持参。対面を基本とするが、受講者数によっては1コマ分の授業を45分ずつ、2グループに分けて実施する（45分の空き時間ができるが、これはオンデマンド授業の受講時間に相当する）こともある。ノートPCを持っていない人は履修登録前に申し出てください。
0111531D2	中国語Ⅲ	何 穎	文学部	前期 月曜日 7・8時限 N301	実習	2年次以上	2時間	1単位	すでに中国語の基礎を学んだ学生を対象として、中国語の総合的能力の向上をはかる。授業では、文章読解やリスニングのトレーニングを中心にしつつ、発音練習や文法事項の復習もくりかえし行う。まずは、中級レベルのテキストを読みながら、基礎力の向上をはかり、さらに、自分で中国語を用いて調べたり、発言したりする応用力を養う。
0111532D2	中国語Ⅳ	大平 幸代	文学部	後期 月曜日 7・8時限	実習	2年次以上	2時間	1単位	すでに中国語の基礎を学んだ学生を対象として、中国語の総合的能力の向上をはかる。授業では、文章読解やリスニングのトレーニングを中心にしつつ、発音練習や文法事項の復習もくりかえし行う。まずは、中級レベルのテキストを読みながら、基礎力の向上をはかり、さらに、自分で中国語を用いて調べたり、発言したりする応用力を養う。
0111533D1	中国語検定初級Ⅰ	幸 知恵	非常勤講師	前期 水曜日 7・8時限 E102	実習	1年次以上	2時間	1単位	中国語検定4級の合格を目指す学生を対象としている。中国語検定4級に求められるレベルは、常用語彙500～1000ならびに基礎的な単文文法を身につけ、簡単な中国語を聞くことと話すことができることである。この授業は、一般的な衣食住、家族関係、挨拶、日常生活用語などに関する語彙、及び量詞・疑問文・補語・比較文など、中国語に不可欠な文法項目を習得することを目指す。
0111534D1	中国語検定初級Ⅱ	幸 知恵	非常勤講師	後期 水曜日 7・8時限	実習	1年次以上	2時間	1単位	中国語検定4級の合格を目指す学生を対象としている。中国語検定4級に求められるレベルは、常用語彙500～1000ならびに基礎的な単文文法を身につけ、簡単な中国語を聞くことと話すことができることである。この授業は、一般的な衣食住、家族関係、挨拶、日常生活用語などに関する語彙、及び量詞・疑問文・補語・比較文など、中国語に不可欠な文法項目を習得することを目指す。
0111535D2	中国語検定中級Ⅰ	幸 知恵	非常勤講師	前期 水曜日 9・10時限 E102	実習	2年次以上	2時間	1単位	中国語検定3級の合格を目指す学生を対象としている。中国語検定3級に求められる水準は、常用語彙1000～2000ならびに補語・使役文・受身文などの文法事項を身につけ、簡単な会話ができ、基本的な文章を読み、書くことができることである。この授業は、日常生活で最低必要な事柄を聞くこと、話すことができ、単文のみならず複文も書いて、しかも平易な叙述文、説明文を読めることを目指す。
0111536D2	中国語検定中級Ⅱ	幸 知恵	非常勤講師	後期 水曜日 9・10時限	実習	2年次以上	2時間	1単位	中国語検定3級の合格を目指す学生を対象としている。中国語検定3級に求められる水準は、常用語彙1000～2000ならびに補語・使役文・受身文などの文法事項を身につけ、簡単な会話ができ、基本的な文章を読み、書くことができることである。この授業は、日常生活で最低必要な事柄を聞くこと、話すことができ、単文のみならず複文も書いて、しかも平易な叙述文、説明文を読めることを目指す。
0111600D2	ロシア語初級Ⅰ	大平 美智代	非常勤講師	前期 水曜日 5・6時限 N302	実習	2年次以上	2時間	1単位	ロシア語はインド・ヨーロッパ語族のスラヴ語派に属し、ウクライナ語やベラルーシ語とともに東スラヴ諸語を形成し、使用人口は多く、国連の公用語ともなっている。このロシア語の基本的な文法事項を説明し学生の理解を助ける。まずは名詞の文法性と格変化のうちの硬変化を覚えてもらい、動詞は文法性との関係において過去形からはじめる。映像や音楽を通してロシア文化に触れる機会を提供する。
0111601D2	ロシア語初級Ⅱ	大平 美智代	非常勤講師	後期 水曜日 5・6時限	実習	2年次以上	2時間	1単位	初級Ⅰに引き続きロシア語文法の基礎を説明する。ロシア語に特徴的な構文（所有表現、無人称文など）、動詞のアスペクト（完了体と不完了体）の意味と時制との関係を説明し、また前期で身につけた硬変化から軟変化を導きだす方法を示す。後期では文法だけでなく、挨拶、自己紹介、及びその他のかんたんな日常会話の練習をしてもらう。現代ロシアの時事的な問題にも言及する。
0111602D2	ロシア語中級Ⅰ	大平 美智代	非常勤講師	前期 水曜日 7・8時限 N302	実習	2年次以上	2時間	1単位	いろいろなシチュエーションにおけるロシア語の会話の例を示し、意味や使い方を説明する。音声資料を聞かせ、一人ひとりに復唱してもらい、発音やイントネーションの矯正を行う。次にそれらの例文を用いて学生同士で会話をしていただき、さらに表現の様々なヴァリエーションを示す。ロシアの社会や文化を知るためのドキュメンタリー番組や映画などの映像資料を見せる。
0111603D2	ロシア語中級Ⅱ	大平 美智代	非常勤講師	後期 水曜日 7・8時限	実習	2年次以上	2時間	1単位	中級Ⅰに引き続き、より具体的なシチュエーションに沿った会話を紹介する。前期で身につけた表現を用いて、学生同士で自己紹介しあったり、設定された架空の状況で簡単な会話をしたりなどのプラクティカルな練習をさせる。ユーリー・ノルシュテインなどのロシアの芸術的なアニメーション作家やその作品を紹介し、また過去及び現代のロシアの問題点に言及し考察を促す。
0111700D1	韓国語初級Ⅰ（A）	郭 真希	非常勤講師	前期 金曜日 5・6時限 G201	実習	1年次以上	2時間	1単位	韓国語の表記法であるハングルについて、その成り立ち、及び発音のルールを説明する。 韓国語は日本語とよく似た構造を持っているが、音に関しては日本語にはないものも多く存在する。そのため、音を聞き取る、発音するという点に重点を置いて授業を進める。ハングルを学んだ後は韓国語の基本的な文法を学び、学んだ文法を使った簡単な会話表現も授業中に一緒に練習する。
0111701D1	韓国語初級Ⅰ（B）	郭 真希	非常勤講師	前期 金曜日 7・8時限 G201	実習	1年次以上	2時間	1単位	韓国語の表記法であるハングルについて、その成り立ち、及び発音のルールを説明する。 韓国語は日本語とよく似た構造を持っているが、音に関しては日本語にはないものも多く存在する。そのため、音を聞き取る、発音するという点に重点を置いて授業を進める。ハングルを学んだ後は韓国語の基本的な文法を学び、学んだ文法を使った簡単な会話表現も授業中に一緒に練習する。

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0111702D1	韓国語初級Ⅱ (A)	郭 真希	非常勤講師	後期 金曜日 5・6時限	実習	1年次以上	2時間	1単位	韓国語初級Ⅰで学んだ発音・初級文法をもとに、韓国語の文法の基礎を、順を追って説明する。引き続き、音を聞き取る、発音するという点に重点を置くとともに、テキストで扱われている基礎的な表現をもとに、表現能力を養えるよう考慮し、授業を進める。 また、会話形式の別途プリントの利点を活かし、実際にコミュニケーションの練習をするなかで、韓国人のものの見方、考え方への理解を促す。
0111703D1	韓国語初級Ⅱ (B)	郭 真希	非常勤講師	後期 金曜日 7・8時限	実習	1年次以上	2時間	1単位	韓国語初級Ⅰで学んだ発音・初級文法をもとに、韓国語の文法の基礎を、順を追って説明する。引き続き、音を聞き取る、発音するという点に重点を置くとともに、テキストで扱われている基礎的な表現をもとに、表現能力を養えるよう考慮し、授業を進める。 また、会話形式の別途プリントの利点を活かし、実際にコミュニケーションの練習をするなかで、韓国人のものの見方、考え方への理解を促す。
0111704D1	韓国語中級Ⅰ	郭 真希	非常勤講師	前期 金曜日 9・10時限 G 201	実習	1年次以上	2時間	1単位	初級で学んだ種々の表現をもとによりいっそう多様な表現ということに重点をおいて解説する。 学んだ文法表現を用いて韓国語の作文を書けるように練習する。 また文法的表現だけでなく、別途用意したプリントを利用し会話の練習を行い会話力を育む。 基本的には講師が用意したプリント教材を基に授業を行う。
0111705D1	韓国語中級Ⅱ	郭 真希	非常勤講師	後期 金曜日 9・10時限	実習	1年次以上	2時間	1単位	非常に類似している日本語との対照の中で、韓国語的表現という点に着目し授業を進める。また、韓国語学習の総仕上げという意味で、特に「話す」という点に重点を置き様々な表現を扱う。 基本的には講師が用意したプリント教材を基に授業を行う。
0112001E1	日本語ⅠA	中川 明日佳	非常勤講師	前期 火曜日 5・6時限 G 204	複合	留学生	2時間	1単位	中級程度（日本語能力試験N1受験レベル）の日本語能力を持つ者を対象に、大学で学ぶために必要とされる日本語能力のうち、特に文法分野の力の養成を目指して授業を進める。N1試験対策問題集をテキストとするが、単に試験対策のためではなく日本語の文法項目を幅広く全般的に身につけることを目標とし、事柄の説明、主観を含めて説明する、時制、自動詞・他動詞の使い分けなどの学習を通して、豊かな表現を可能にする日本語運用能力の養成を目指す。授業は文法事項の説明のあと、問題演習で進めるので、事前学習、事後学習に十分とりくむこと。
0112002E1	日本語ⅠB	中川 明日佳	非常勤講師	後期 火曜日 5・6時限	複合	留学生	2時間	1単位	中級程度（日本語能力試験N1受験レベル）の日本語能力を持つ者を対象に、大学で学ぶために必要とされる日本語能力のうち、特に文法分野の力の養成を目指して授業を進める。N1試験対策問題集をテキストとするが、単に試験対策のためではなく日本語の文法項目を幅広く全般的に身につけることを目標とし、主観を述べる、授受表現などの学習を通して、豊かな表現を可能にする日本語運用能力の養成を目指す。授業は文法事項の説明のあと、問題演習で進めるので、事前学習、事後学習に十分とりくむことを求める。
0112003E1	日本語ⅠC	吉川 仁子	文学部	前期 金曜日 3・4時限 E 251	複合	留学生	2時間	1単位	中級程度（日本語能力試験N1受験レベル）の日本語能力を持つものを対象に、大学において学習研究活動を行うために必要とされる日本語能力のうち、特に読む力を養成することを目指して授業を進める。授業はテキストに従って進める。語彙や文法事項を確認し、文章の理解力を向上させるとともに、文章を通して、多様な観点、考え方に触れ、日本社会への興味や関心を深めることを目標とする。さらに、読解ののち、ディスカッションや作文により、読解力の養成を通して考える力の養成を目指す。
0112004E1	日本語ⅠD	吉川 仁子	文学部	後期 金曜日 3・4時限	複合	留学生	2時間	1単位	中級程度（日本語能力試験N1受験レベル）の日本語能力を持つものを対象に、大学において学習研究活動を行うために必要とされる日本語能力のうち、特に読む力を養成することを目指して授業を進める。授業はテキストに従って進める。語彙や文法事項を確認し、文章の理解力を向上させるとともに、文章を通して、多様な観点、考え方に触れ、日本社会への興味や関心を深めることを目標とする。さらに、読解ののち、ディスカッションや作文により、読解力の養成を通して考える力の養成を目指す。
0112005E1	日本語ⅡA	松永 光代	国際交流センター	前期 木曜日 3・4時限 国際セミナー室	複合	留学生	2時間	1単位	日本語の上級者を対象とし、大学の講義などで要求される聴解力の養成に重点を置く。授業は、以下の流れで進める。①教材の視聴、②練習・確認（内容確認問題、要約）、③発表（意見交換）。教材は、ドキュメンタリーやDVDの他、聴解用教材を活用する。内容としては、日本の歴史、文化に関するものをはじめとし、時世のトピックについても扱う予定である。
0112006E1	日本語ⅡB	松永 光代	国際交流センター	後期 木曜日 3・4時限	複合	留学生	2時間	1単位	日本語の上級者を対象とし、大学の講義などで要求される聴解力の養成に重点を置く。授業は、以下の流れで進める。①教材の視聴、②練習・確認（内容確認問題、要約）、③発表（意見交換）。教材は、ニュースやドキュメンタリー、インタビュー映像などの他、聴解用テキスト等を活用する。内容としては、日本の社会や文化に関するものについて、時世のトピックを取り入れながら扱う予定である。
0112007E1	日本語ⅡC	今枝 杏子	非常勤講師	前期 月曜日 3・4時限 S 124	複合	留学生	2時間	1単位	上級レベルの日本語既習者を対象とし、大学で要求される文章能力を養成することに重点を置く。特に、論理的な文章を書くために必要となる表現を使いこなせるようにする。
0112008E1	日本語ⅡD	今枝 杏子	非常勤講師	後期 月曜日 3・4時限	複合	留学生	2時間	1単位	上級レベルの日本語既習者を対象とし、大学で要求される文章能力を養成することに重点を置き、特に、論理的な文章を書くために必要となる表現を使いこなすための技術について講義する。また、実際に小論文を作成し、添削指導を行う。
0112009E1	日本事情A	久岡 明穂	非常勤講師	前期 木曜日 7・8時限 D 119	複合	留学生	2時間	1単位	日本文学には、日本人の生活と心があらわれている。 日本の古典文学作品を読むことによって、日本文学の基礎的な知識や作品が書かれた当時の社会について学ぶ。 日本文学を学びながら、日本語で意見を発表し、文章を書く能力を高めることを目的とする。
0112010E1	日本事情B	久岡 明穂	非常勤講師	後期 木曜日 7・8時限	複合	留学生	2時間	1単位	この授業は、日本の風土・生活・文化を多方面から学ぶための授業です。 テキストに沿って日本人の衣食住、地理、文化、娯楽などのトピックを講義します。 留学生の理解度に応じて、日本語によるペアワーク・ディスカッションなどによって発信力を高める指導を行います。

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0112011E1	日本語 F I (1)	松永 光代	国際交流センター	前期 火曜日 5・6時限 N 2 0 3	複合	留学生	2時間	1単位	This course is designed for beginner students in the study of the Japanese language. Students will be introduced to reading, writing, and speaking modern Japanese. The fundamentals of grammar, pronunciation, vocabulary and conversation will be established if students take Japanese F I -FIV.
0112012E1	日本語 F I (2)	松永 光代	国際交流センター	後期 火曜日 5・6時限	複合	留学生	2時間	1単位	This course is designed for beginner students in the study of the Japanese language. Students will be introduced to reading, writing, and speaking modern Japanese. The fundamentals of grammar, pronunciation, vocabulary and conversation will be established if students take Japanese F I -FIV.
0112013E1	日本語 F II (1)	松永 光代	国際交流センター	前期 火曜日 7・8時限 N 2 0 3	複合	留学生	2時間	1単位	This course is designed for the students who attended Japanese F I . Students will be introduced to reading, writing, and speaking modern Japanese. The fundamentals of grammar, pronunciation, vocabulary and conversation will be established if students take Japanese F I - FIV.
0112014E1	日本語 F II (2)	松永 光代	国際交流センター	後期 火曜日 7・8時限	複合	留学生	2時間	1単位	This course is designed for the students who attended Japanese F I . Students will be introduced to reading, writing, and speaking modern Japanese. The fundamentals of grammar, pronunciation, vocabulary and conversation will be established if students take Japanese F I - FIV.
0112015E1	日本語 F III	松永 光代	国際交流センター	前期集中 その他 その他 N 2 0 3	複合	留学生	集中30時間	1単位	This course is designed for the students who attended Japanese F II . Students will be introduced to reading, writing, and speaking modern Japanese. The fundamentals of grammar, pronunciation, vocabulary and conversation will be established if students take Japanese F I - FIV.
0112016E1	日本語 F IV	松永 光代	国際交流センター	後期集中 その他 その他	複合	留学生	集中30時間	1単位	This course is designed for the students who attended Japanese F II . Students will be introduced to reading, writing, and speaking modern Japanese. The fundamentals of grammar, pronunciation, vocabulary and conversation will be established if students take Japanese F I - FIV.
0112017E1	日本語 J I	吉川 仁子	文学部	前期 木曜日 3・4時限 G 2 0 4	複合	留学生	2時間	1単位	中級程度（日本語能力試験N4、N3受験レベル）の日本語能力を持つものを対象に、留学生を送る上で日常生活や、大学での学習研究活動に必要となる、基礎的な日本語能力の養成を目的とする。、中級レベルの文法学習を通じて、基本的な語彙や漢字を使って書かれた文章を読んで理解することができるようにする。また、聴解練習や、短文作文、会話練習などを通して総合的な日本語運用能力の着実な基礎力を養成する。適宜読解の副教材を用いる。ほぼ毎回宿題を課す。授業はテキストにしたがってすすめる。テキストは「TRY! 日本語能力試験N3 文法から伸ばす日本語（改定版）」を予定しているが、1回目の授業の説明を聞いてから購入すること。
0112018E1	日本語 J II	吉川 仁子	文学部	後期 木曜日 3・4時限	複合	留学生	2時間	1単位	中級程度（日本語能力試験N4、N3受験レベル）の日本語能力を持つものを対象に、留学生を送る上で日常生活や、大学での学習研究活動に必要となる、基礎的な日本語能力の養成を目的とする。、中級レベルの文法学習を通じて、基本的な語彙や漢字を使って書かれた文章を読んで理解することができるようにする。また、聴解練習や、短文作文、会話練習などを通して総合的な日本語運用能力の着実な基礎力を養成する。ほぼ毎回作文の宿題を課す。授業は日本語 J I を受け、テキストにしたがってすすめる。テキストは「TRY! 日本語能力試験N3 文法から伸ばす日本語（改定版）」を予定しているが、1回目の授業の説明を聞いてから購入すること。
全学教育が「仆」 ら一覧参照	健康運動実習 I		全学教育が「仆」 ら一覧参照		実習	全学教育が「仆」 ら一覧参照	2時間	1単位	多くの受講生は受験期を終えたと同時に、新しい生活環境で暮らし始めた状態である。この授業では心身のコンディションを目指した様々な運動を行うことにより、自らの身体に改めて目を向ける機会を提供するとともに、精神的にも社会的にも健康的な学生生活を送る上で重要な仲間とのコミュニケーション作りの契機となるよう実践・指導する。
全学教育が「仆」 ら一覧参照	健康運動実習 II		全学教育が「仆」 ら一覧参照		実習	全学教育が「仆」 ら一覧参照	2時間	1単位	受講生にとってこの授業は必修として行う最後の体育授業である。健康運動実習 I によって健康的な生活基盤を確立しつつある受講生が、さらに自身の身体への気づきを深め、健康行動の必要性を理解することを目指す。各種の運動や集団スポーツの実践を通じて、健康的で豊かな生活の基盤となるフィットネスを自ら維持し向上させるための能力や知識を身につけるように実践・指導する。
0113031D2	スポーツ実習 A 1	丸谷 賢弘	非常勤講師	後期 月曜日 5・6時限	実習	2年次以上	2時間	1単位	テニスコートでのウォーミングアップやテニス競技を実施する上で必要な準備運動について解説しながら行う。前半はテニス競技の基本技術（ストローク、ボレー、サーブ、スマッシュ）の習得を中心に実施し、後半は仲間と交流しながら試合形式の実技を行う。加えて、テニス競技の特性、ルールに関する知識、テニス実施による身体への効用などについて解説し、各自の競技レベル向上を目指した活動を行う。
0113033D2	スポーツ実習 A 3	河西 正博	非常勤講師	前期 月曜日 5・6時限 Campusmate-J 掲示板で確認	実習	2年次以上	2時間	1単位	バドミントンの基本的な技術の習得およびルールの理解、ゲームを楽しむことを目指します。授業の前半では基本的な技術の練習を行い、後半では各種ゲーム（半面シングル・ダブルス、トリプル等）を実施します。授業の後半ではチームを編成し団体戦を行います。
0113035D2	スポーツ実習 A 5	竹村 匡弥	非常勤講師	前期 水曜日 5・6時限 Campusmate-J 掲示板で確認	実習	2年次以上	2時間	1単位	本授業は主に初心者、初級者を対象に、卓球の基本的な打球技術を身につけ、ルールを理解しゲームを楽しむことができるようになることに主眼をおく。また様々な方法でゲームを体験することにより、相手の打球に対応した返球を身につけるなど、ゲームに必要な能力が高められるよう授業を行う。
0113036D2	スポーツ実習 A 6	竹村 匡弥	非常勤講師	後期 水曜日 5・6時限 Campusmate-J 掲示板で確認	実習	2年次以上	2時間	1単位	本授業では卓球の授業を実施します。ほとんど経験のない人から経験者まで、基本的な打球技術のステップアップをはかり、ゲームを楽しむことをめざす。基本的技術練習だけでなくゲームを通じて、正確でリズミカルなラリーやコース変化などゲームを楽しみながら技術を向上させられるよう配慮する。また、ゲームを通じて仲間とともに卓球を楽しめるよう配慮する。

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0113046D2	スポーツ実習 B 4	竹村 匡弥	非常勤講師	前期 水曜日 7・8時限 Campusmate-J 掲示板で確認	実習	2年次以上	2時間	1単位	バレーボールの基本的な技術の習得と、ゲームを通して仲間と協力することの面白さ、楽しさを実感出来るよう授業を進める。バレーボールの公式ルールにとらわれずに、新たなボールゲームを考案出来るような柔軟性を養う。
0113047D2	スポーツ実習 B 5	竹村 匡弥	非常勤講師	後期 水曜日 7・8時限 Campusmate-J 掲示板で確認	実習	2年次以上	2時間	1単位	バスケットボールは、一つのコートで敵味方の攻防が切り替わるボールゲームである。その特徴を理解したうえで、バスケットボールの経験・未経験を問わず、ゲームの楽しさを実感できるように授業を行う。また、ゲームを通じて技術およびコミュニケーション能力が向上できるように配慮する。特にシュート技術に重点を置いた授業を行う。
0113048D2	スポーツ実習 C 1	井上 裕美子	非常勤講師	前期 木曜日 7・8時限 Campusmate-J 掲示板で確認	実習	2年次以上	2時間	1単位	健康であるためには、心身のしなやかさからだの内側からどういう要求が出されているかを感じ取る感覚が重要となる。本コースでは、しなやかに健康に生きるために必要なからだに着目し、ヨガやピラティスなどの軽いエクササイズおよびストレッチを通じてからだの気づきを促すと共にからだのコンディショニングを行う。また、からだのリラクゼーションも行う。からだを動かしてみたいけれど、スポーツは苦手と思い込んできた人、新たに何か始めてみたい人を歓迎。
0113049D2	スポーツ実習 C 2	小山 宏之	非常勤講師	前期 火曜日 5・6時限 Campusmate-J 掲示板で確認	実習	2年次以上	2時間	1単位	運動やスポーツを通じて爽快な気分を味わうことは、心身ともに健康に過ごしていくための重要な要素です。本授業では、様々なスポーツにつながり、また個人でも楽しむことのできる運動であるRun（走ること）とJump（跳ぶこと）を中心に、スポーツや運動が苦手な人も得意な人も共に、自分の体力や運動能力に応じて楽しむことのできる活動に落とし込み、気持ちよく汗をかきながら生涯を通じてスポーツや運動に親しむことのできる力を養います。
0113050D2	スポーツ実習 C 3	青木 恵子	非常勤講師	後期 火曜日 5・6時限 Campusmate-J 掲示板で確認	実習	2年次以上	2時間	1単位	からだを動かすことのこころよさを感じるため、ヨガやボディワーク、ピラティス、ウォーキングなどのリラクゼーションやリフレッシュを目的とした活動を行なう。
0113051D2	スポーツ実習 C 4	星野 聡子	生活環境学部	前期 月曜日 5・6時限 Campusmate-J 掲示板で確認	実習	2年次以上	2時間	1単位	本授業では剣道と薙刀という日本古来の伝統文化に触れながら、真剣勝負の中にも自他との対話を楽しみます。武道ならではのひと味違った清々しい精神集中と心身のリフレッシュ効果を味わいませんか。 授業内容は、基本的な礼儀作法の実践、呼吸法や発声法の実践、胴着・袴の着用に始まり、最終的には、形（かた）を用いた種々の構えや技についてその理法の理解とあわせて実践します。
0113052D2	スポーツ実習 C 5	石坂 友司	生活環境学部	前期集中 その他 その他	実習	2年次以上	集中30時間	1単位	プールで泳ぐスキルを身に付けるとともに、アクアエクササイズなど関連するスポーツを行う。4泳法の習得を基本とし、水の中で身体を動かしながらいかに楽しむことができるかに取り組む。また、そのための基盤となる生命を守るための知識や技術について教授する。
0113053D2	スポーツ実習 C 6	成瀬 九美	生活環境学部	後期集中 その他 その他	実習	2年次以上	集中30時間	1単位	技術に応じ雪上に思い思いのシュプールを描いて滑るスキーは幅広い年齢層に人気のある生涯スポーツである。この授業では経験レベル別に少人数グループを編成してスキー技術を習得し、日常生活では体験できない滑走感覚を味わうことを目指す。また、雪山での活動を通じて、危険を回避する知識を身につけるとともに、自然環境に対する理解を深める。
全学教育が「仆」の 一瞥参照	情報処理入門 I	瀧本 栄二	情報基盤センター		複合	全学教育が「仆」の 一瞥参照	2時間	2単位	高校で学習してきた普通教科「社会と情報」または「情報の科学」の内容を前提に、ICTの利用が当然となっている現代社会で活躍するための知識インフラとして情報、コミュニケーション、通信プロトコル、インターネット、情報システム、セキュリティ、データサイエンス、AIに関して体系的に学ぶ。我々はコミュニケーションによって情報伝達を行っているが、インターネットによってその情報伝達は飛躍的に広がった。その伝達手順である通信プロトコルを理解し、様々な種類の情報伝達を担う情報システムを学ぶ。これらサイバー空間におけるコミュニケーションで最も大事なセキュリティについて詳細な事例をもとに詳しく学習する。
0114007E2	情報処理入門 II	城 和貴	生活環境学部	後期 木曜日 3・4時限	複合	原則、情報処理入門 I の既履修者	2時間	2単位	まず始めにデータのアナログ化、符号化、圧縮を知った後、論理回路の概要を学ぶ。その上でCPUと記憶装置の原理を理解する。また、これらを使うためのインタフェースの概念を学習する。次にコンピュータの起動とOSの役割の概要を知った後、プログラミングとはどのようなものかを知る。またインターネット上での情報のやりとりがどのように行われているかを理解した上で、最後にプログラムのデータ構造とアルゴリズムについて簡単に学習する。毎回の授業の前に予めWebで予習を行い、授業後にはワードやパワーポイントを用いてレジメを作成し、授業担当教員にメールの添付ファイルとして送ることを義務付ける。
0114008E1	情報基礎	駒谷 昇一	工学部	後期 金曜日 5・6時限	複合	1年次	2時間	2単位	私たちの生活やビジネスにおいて情報を上手く活用することが不可欠となっている。情報を上手く活用するためには、情報が社会やビジネスにおいてどのように活用されているのか、また情報セキュリティやサイバー犯罪に関する基礎知識も必要である。この授業では、情報の基礎として、情報をいかにビジネス戦略に活用されているか、マネジメントにおいてどう活用されているか、情報の基礎的な技術、の3分野について学ぶ。これらの内容は国家試験である『ITパスポート試験』の内容にも一致し、ITパスポートの資格取得にも役立つ内容を学ぶ。

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0121021A1	パサージュ (3 3 A)	中川 千帆	文学部	前期前半 木曜日 5・6時限 G 2 0 2	講義	1年次	2時間	1単位	「文学研究とポップカルチャー：吸血鬼の意味すること」 吸血鬼を扱った物語は、現在、小説だけではなく、映画、アニメ、マンガ、などさまざまな媒体において発表されている。この授業では、文学研究として吸血鬼物語はどのように読み解かれてきたのか、そしてその影響がポップカルチャーにどのように表れているのかを詳細に検証していく。 吸血鬼文学の根本ともいえる『ドラキュラ』研究は、文学研究における重要なさまざまなアプローチを知ることができる領域である。それは、そこに地域や時代の特徴だけではなく、その場所・その時代の人々の関心事や不安、そして世界観が吸血鬼の姿のなかに映し出されてくるからである。吸血鬼を扱った物語は、娯楽小説といわれる分野がどのように文学研究の対象となりうるかを示す恰好の材料である。いわゆる真面目な文学を対象にした文学研究だけではなく文学研究に触れることにより、文学研究の広がりや深さを知ってもらいたい。
0121031A1	パサージュ (5 B)	森藤 紳哉	理学部	前期後半 水曜日 3・4時限 G 2 0 4	講義	1年次	2時間	1単位	(テーマ) 微分積分学と線型代数学 (担当教員の専門分野) 数学, 特に解析学 最終的に数学の(短い, 英語の) 論文を輪読する。そのために、「数量的スキル」および「論理的思考力」を身に付けるための講義を行う。特に、高校数学から大学数学への懸け橋としてのベクトル・微分積分を題材とする。
0121038A1	パサージュ (1 8 A)	松本 有正・浦康之	理学部	前期前半 木曜日 1・2時限 E 1 0 9	講義	1年次	2時間	1単位	(テーマ) メタンから始まる有機物ワールドへのいざない (担当教員の専門分野) 松本：構造有機化学、浦：有機金属化学・有機合成化学 メタンはなぜ正四面体構造をもつのか？有機化合物の性質はどのようにして決まるのか？さまざまな有機化学反応はどのように起こるのか？このような疑問について考えるべく、大学における有機化学の基礎的な内容について講義する。毎時間演習の時間を設け、練習問題を解くことにより理解を深める。さらに、少人数制を活かし、有機化学に関するさまざまな疑問についてディスカッションを行う。
0121042A1	パサージュ (2 3 A)	岩口 伸一	理学部	前期前半 木曜日 1・2時限 S 1 2 4	講義	1年次	2時間	1単位	(テーマ) 微生物と私たちの暮らし (担当教員の専門分野) 微生物科学 (病原微生物学、発酵学) 目には見えないけれど私たちの周りにはいる生き物、「微生物」。 風呂場などジメジメしたところに生えて気持ち悪いとか、食中毒や感染症を引き起こすバイ菌などマイナスのイメージがありますが、食品や医薬品など、微生物にはその働きで私たちの生活を豊かにしてくれるものもたくさんあります。そういった微生物の存在に目を向けてもらおうというのがこの講座の目的です。
0121048A1	パサージュ (4 0 A)	野口 克行	理学部	前期前半 月曜日 7・8時限 E 2 1 8 - 2	講義	1年次	2時間	1単位	Theme: Planetary Atmospheric Science (惑星大気科学) Expertise of the lecturer: Planetary Science, Earth Science Course Aims: This course introduces the foundations of planetary atmospheric science to students taking this course. It also enhances the development of students' skill in making a basic conversation in English.
0121097A1	パサージュ (2 7 A)	佐藤 克成	工学部	前期前半 金曜日 3・4時限 H 2 0 2	講義	1年次	2時間	1単位	(テーマ) 「触り心地」で広がる世界 (担当教員の専門分野) 情報理工学 普段の生活で何気なく感じている「手触り」や「肌触り」について、その役割を追求します。人がどのように「触り心地」を感じるかを学び、生活における触感の機能や効果を、体験学習とディスカッションを通して考えます。さらに、関連する最新技術に触れ、それらがもたらす未来の生活を考えます。
0121098A1	パサージュ (2 7 B)	佐藤 克成	工学部	前期後半 金曜日 3・4時限 H 2 0 2	講義	1年次	2時間	1単位	(テーマ) 「触り心地」で広がる世界 (担当教員の専門分野) 情報理工学 普段の生活で何気なく感じている「手触り」や「肌触り」について、その役割を追求します。人がどのように「触り心地」を感じるかを学び、生活における触感の機能や効果を、体験学習とディスカッションを通して考えます。さらに、関連する最新技術に触れ、それらがもたらす未来の生活を考えます。
0121084A1	パサージュ (4 7 A)	高田 雅美	生活環境学部	前期前半 火曜日 3・4時限 Z 3 0 6	講義	1年次	2時間	1単位	「情報科学の今」について寄稿を読み解く
0121085A1	パサージュ (4 7 B)	高田 雅美	生活環境学部	前期後半 火曜日 3・4時限 Z 3 0 6	講義	1年次	2時間	1単位	「情報科学の今」について寄稿を読み解く
0121049A1	パサージュ (4 9 A)	宮林 謙吉	理学部	前期前半 水曜日 3・4時限 G 2 0 4	講義	1年次	2時間	1単位	【テーマ】 定理・原理・法則と定数で自然を読み解く 【担当教員の専門分野】素粒子実験 物理学は自然現象を記述する法則の体系であるから、「こうしたことが成り立っているのではないか」との仮説を立て、法則を記述する定数の測定、あるいは仮説が予言する現象の探索を行う実験により、再現性をもって成立すると確かめられた知見の蓄積である。いくつかの実例を参照しながら、数値を示した定量的な論証の基礎について学ぶ。

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・ 時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0121027A1	パサージュ (5 7 A)	村上 麻佑子	文学部	前期前半 火曜日 7・8時限 E 2 1 8 - 2	講義	1年次	2時間	1単位	<p>テーマ；日本のカミとホトケを知る 教員の専門分野；日本古代史、日本思想史 皆さんは高校までの授業で、神や仏についてあまり学んできていないのではないのでしょうか。 でも実は、ヒトは約4万年前から現在まで、常に聖なる存在である「カミ」とともに歴史を歩んできました。時代と共にカミは様々に変遷し、時に崇られ、時に助けられながら、我々は今も知らぬ間に神や仏の影響を受けて生活しています。 この授業では、日本の神や仏についての最先端の研究に触れ、自分の興味のある対象を選んで、その来歴や特徴、歴史的な役割について調査し、自分なりの見解をまとめることを目指します。 神や仏がたくさんいる奈良の地で、学生生活を始める皆さんの視野が、さらに広がっていく手助けができればいいなと考えています。</p>
0121028A1	パサージュ (5 8 B)	水垣 源太郎	文学部	前期後半 水曜日 3・4時限 I Tコ モンズ1	講義	1年次	2時間	1単位	<p>【テーマ】きずなとつながりー社会ネットワーク分析の基礎 社会ネットワーク分析の初歩を学ぶ。社会ネットワークは個人や集団を要素とする関係のあり方を概念化したものである。個人や集団の態度や行動はこうした社会ネットワークのあり方（依存や競争）によって影響を受けるため、個人や集団を関係の網の目に位置づけることによって、個人や集団だけに注目するのは見えてこないような特性が見えてくるようになる。こうした社会ネットワークのあり方を計量的に解析する手法が社会ネットワーク分析である。 本授業では、社会ネットワーク分析の基本概念と研究例を学ぶとともに、無料データ解析ツールRを用いて実際にデータ分析の初歩を体験する。 授業はプログラミングの初心者想定で行うので、Rの利用経験は必要ない。</p>
0121029A1	パサージュ (5 9 B)	竹橋 洋毅	文学部	前期後半 月曜日 7・8時限 E 2 1 8 - 2	講義	1年次	2時間	1単位	<p>テーマは「心理学の本を読んで、議論する」です。心理学は、人の判断や行動の背景にある心の仕組みを明らかにしようとする学問です。心理学にふれることで、人々の日常的なふるまいの「なぜ？」を考えるヒントがあるかもしれません。この授業では、「やる気」の研究で世界的に著名なキャロル・ドウェック先生が一般向けに優しく書いた『マインドセット』という本を読み、議論します。後半は、みんなでアンケートを作ることができたらいいなと考えています。 全学共通の新入生向けの授業ですので、学習だけでなく、他学部生を含む新入生交流の機会にしたいと思います。</p>
0121093A1	パサージュ (6 0 A)	成瀬 九美	生活環境学部	前期前半 水曜日 1・2時限 N 3 0 1	講義	1年次	2時間	1単位	<p>わたしたちがモノをみるとき、形に関する情報と意味に関する情報を得ています。人のからだや人の姿に対しても同様です。2020年春、人と会えなくなった日々で、オンラインの画面越しの対面が人をつないでいました。いま、人と人が同じ時空間で直接会える、リアルな対面や直（じか）の交流が戻ってきています。このパサージュでは、身体的共感(Kinesthetic Empathy)をキーワードに、動くからだを見ることについて実習を交えて考えていきます。</p>
0121094A1	パサージュ (6 1 A)	吉田 伸治	生活環境学部	前期前半 金曜日 7・8時限 E 2 1 8 - 2	講義	1年次	2時間	1単位	<p>(テーマ) 身の周りの暑さ・寒さと人体 (担当教員の専門分野) 都市・建築環境学 (空気・熱環境分野) このパサージュでは、身の回りの生活空間における暑さ・寒さについて考えます。まず、人間の暑さ・寒さを感じるメカニズムについて座学で学習します。次に実験、実測、コンピュータシミュレーションを通じて、①家の作りと室内の熱環境形成の関わり、②熱的刺激が人の体温調節機構に与える影響、を知る機会を設けます。最後に昔の住空間に見る暑さ・寒さに適応する方法を奈良町の「奈良町セミナーハウス」の見学をつじて学習します。</p>
0121095A1	パサージュ (6 2 B)	許 載永	生活環境学部	前期後半 金曜日 7・8時限 E 2 1 8 - 2	講義	1年次	2時間	1単位	<p>(テーマ) 奈良町の景観を調査・分析する 奈良町は伝統的な風景が保存されているエリアであり、細く入り組んだ路地に歴史ある木造家屋が並んでいる。また、観光客向けの古民家をリノベーションしたカフェなどの店舗も多く、奈良特有の景観を楽しむことができる。 このような奈良町の景観をキャプション評価法を通じて調査し、それに基づいてブレインストーミング・KJ法を行うことで奈良町の景観を言葉で構造化する。</p>
0121096A1	パサージュ (6 3 B)	高村 仁知	生活環境学部	前期後半 木曜日 7・8時限 E 1 0 2	講義	1年次	2時間	1単位	<p>「食品表示からわかること」 ふだん、何気なく見ている「食品表示」。その中にはさまざまな情報が入っています。この講座では、食品表示を手がかりに、食品の原材料、栄養成分、おいしさ、安全性などについて、科学的に理解してもらうのが狙いです。</p>
0122006A1	哲学の歴史	柿本 佳美	非常勤講師	後期 火曜日 9・ 1 0時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	<p>この授業では、言論と共同体をキーワードに、哲学の歴史をたどります。 アレントは、誰一人同じ人間は存在しないがみな同じ人間であるからこそ言葉が生まれたのであり、ひとが共同体の一員となるにあたっては言葉で自らを開示しなければならぬと指摘しました。現在、IT技術はわたしたちの生活のインフラとなり、必要な情報を収集し、各人が情報を発信することが可能となっています。その一方で、ひとは自らの見解や信念に近い情報にはアクセスしやすいけれども、異なる見解や関心のない事柄に関する情報には接しにくくなっています。これにより、困難な状態にあるひとの言葉がなおざりにされ、社会の分断が進み、言論が形成する公的領域も衰退することになります。 哲学は、自然現象の根底にある原理の探求から始まり、自己と世界の存在を根源的に問う知の実践です。哲学が長い歴史のなかで議論してきた人間存在への問いは、「わたし」とはどのような存在なのか、多数で生きる人間にとって「ともに生きる」とはどういうことか、を考える基盤ともなります。ここでは、現代社会の諸問題と重ね合わせながら、哲学史の基本的な学説を概観し、人間の自由と言論について考えていきます。</p>

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0122007A1	現代の倫理	柳澤 有吾	文学部	前期 金曜日 5・6時限 S 2 3 5 大講義室	講義	1年次以上	2時間	2単位	動物や生まれようとする生命との関係、社会（あるいは世界）のなかに見出される差別と共生の可能性などをテーマに、現代社会の倫理的課題について考えると同時に、わたしたちの倫理的感覚や倫理的思考の底にあるものを探り、そこから倫理「学」の可能性について考えていく。
0122008A1	現代宗教学への招待	芦名 裕子	非常勤講師	前期 水曜日 7・8時限 G 1 0 1	講義	1年次以上	2時間	2単位	宗教学の基礎を学ぶ。現代宗教学の諸方法（宗教社会学・宗教心理学・宗教民族学・宗教民俗学・宗教現象学）と世界の宗教を習得する。本講義によって、世界の宗教を知ることが出来る。実地調査に基づく現代の宗教状況を報告する。 楽しく学べる講義を目指しており、ラテン語の聖歌も学ぶ。 教科書は芦名裕子著『楽しい宗教学』（三恵社）で二回目以降に販売する。 『新約聖書』は無料配布する予定である。
0122009A1	心の科学への招待	高岡 昌子	非常勤講師	前期 水曜日 7・8時限 S 2 3 5 大講義室	講義	1年次以上	2時間	2単位	本講義のタイトルには、「こころ」の「科学」とある。ヒトの「こころ」はどのように「科学的」にとらえられるだろうか。現代科学では、必ずしも「こころ」そのものを研究の対象とするわけではなく、「こころ」を持っている生活体、すなわち、ヒトの「行動」をあつかうことが多い。そこで本講義では、科学的な方法によってとらえられたヒトのさまざまな行動メカニズムについて学び、ヒトの「こころ」の仕組みや法則について考える。
0122010A1	社会と文化の心理学	村上 史朗	非常勤講師	後期 金曜日 3・4時限	講義	1年次以上	2時間	1単位	生活する国・地域や所属する集団などによって、当たりまえとされることが違い、こころの働きもまた異なる。この講義では、私たちのこころの働きが文化によってどのような影響を受けているのか、私たちが暗黙のうちに前提としている規範意識の性質について論じる。あわせて、心理学の社会的問題への応用についても考察する。
0122011A1	歴史学	大島 佳代・野口理恵・矢島 洋一	文学部	前期 火曜日 5・6時限 N 2 0 2	講義	1年次以上	2時間	2単位	歴史学とは何か、理論と実践の両面から考える。歴史を語る際に何気なく使われている諸概念が歴史学においてどのように定義・使用されているかを検討した後、中央アジア史・フランス近代史・日本中世史を例に歴史学の実践の現場について紹介する。
0122012A1	日本の言語と文学	鈴木 広光	文学部	前期 木曜日 7・8時限 S 2 3 5 大講義室	講義	1年次以上	2時間	2単位	※この科目は、開講する年度によって、授業の具体的な内容や担当教員が変わることがある。 今年度は、言語とは何か、という問題と、それが文学作品としてどのように結実してきたか、ということを考えながら、古典文学の良く知られた作品の章段を読み直す。そもそも、言葉はコミュニケーションの道具、文学は娯楽・趣味と考えられていないだろうか。実はこれは、説明として50%にしか達していない。もしこれ以外に何かがあるだろうか、と思ひ悩むとすれば、きっとこの授業で新しい発見があるはずである。
0122014A1	ことばと文化	吉村 あき子	文学部	前期 木曜日 5・6時限 S 2 3 5 大講義室	講義	1年次以上	2時間	2単位	日ごろ何気なく用いていることばを意識的に観察すると、思いがけない発見があり、その相対性と普遍性が見えてくる。英語のwaterはいつも日本語の「水」に対応するわけではない。実は「それ」もitではない。奈良にはおなじみのdeer（鹿）は動物一般を表す言葉だった。この授業では、言語学を初めて学ぶ学生を主な対象に、そもそも人の言語は動物とどこが違うのかから始め、ことばの持つ規則性・法則性を、具体的で分かりやすい事例に基づいて解説し、主として意味の側面に焦点を当て、文化的背景や文脈（認知環境）が、それらの規則性・法則性にどのような影響を及ぼしているかを明らかにする。 注：教科書とプリントを併用
0122016A1	日本の美と芸術	佐藤 有希子	文学部	前期 月曜日 5・6時限 S 2 3 5 大講義室	講義	1年次以上	2時間	2単位	この授業では、奈良の仏教寺院とその美術について、なかでも法隆寺・興福寺・東大寺などを中心に扱います。 写真や映像を用いるとともに、現地での自由見学を交え、その魅力について一緒に考えましょう。 注：この授業では、自由見学として、興福寺を各自で見学することが必要です。 そのため、拝観料（900円程度）がかかることをご了承ください。
0122017A1	西洋の美と芸術	請田 義人	非常勤講師	後期 月曜日 5・6時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	本講義では、19世紀以降の芸術を中心に取り上げながら、西洋芸術を鑑賞、研究する際に必要となる知識や枠組みを概説する。図像や様式、方法論、そして時代を横断的に貫く多様なテーマについて、具体的な作品を紹介しながら解説し、西洋美術鑑賞の際に必要な文化的・歴史的知識を講義する。 受講人数にあわせて変化するが、講義内容を踏まえたディスクリプション等の課題の提出を定期的に義務づけ、作品を具体的に鑑賞する際の基本的な姿勢を培うことを目指す。
0122018A1	音楽概説	中川 統雄	非常勤講師	後期 月曜日 1・2時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	本授業では音楽に関する基礎知識、及び音楽の社会に及ぼす事象を概説する。取り扱う音楽はクラシックだけではなく、ポップス全般（ロック、テクノ、R&B、ジャズ、レゲエ、ヒップホップetc.）も扱う。また私自身が作曲、編曲に携わった曲も随時紹介する事で、どこよりも早くリアルな情報を得る事が出来る。様々な音楽に触れて行き、学生のクエストにも答えていく。
0122019A1	地域の人と暮らし	吉田 容子	文学部	前期 木曜日 5・6時限 N 1 0 1	講義	1年次以上	2時間	2単位	本授業では、私たちの暮らしがさまざまな事象の関係性の中で成り立っていること、また、世界と結びついていることを、具体的な事例をもって示していく。私たちが生活している現在は過去の歴史の積み重ねであることから、授業のスタートとして、本学の学生にとって身近な地域である奈良に刻み込まれたさまざまな関係性を、地形図から読み解いていく。つぎに、私たちの日常生活にかかわる経済・社会・文化的な事象を、(人文)地理学的な視点から捉え概説する。とくに取り上げるのは、今日の都市や農山村が直面している人口減少や過疎化と、これに付随して生じている諸問題、また、海外から日本に流入してきた人々が形成する「エスニック社会」についてである。
0122020A1	人類史	宮路 淳子・高田将志・西谷地 晴美・大賀 克彦・田中 希生	文学部 他	前期 水曜日 7・8時限 N 2 0 2	講義	1年次以上	2時間	2単位	危機に陥ったとき、人は歴史を振り返る。明治維新の時、この国の人々は「神武創業の始め」まで、歴史を振り返った。危機が深ければ深いほど、その振り返りの幅は長くなる。現代は、人類史全体を振り返らなくてはならないほど深刻な、危機の時代である。地球温暖化・福島第一原発事故・・・など、最近起こったことを並べてみるだけで、それはわかる。しかし残念なことに我々は未だ、人類史の全体を視野におさめた歴史学を構築していない。だから様々な専門分野の協力を得て、「新しい歴史学」の構築を目指す。

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0122022A1	考古科学ゼミ	宮路 淳子	文学部	前期 水曜日 3・4時限 S 1 2 8	講義	1年次以上	2時間	2単位	先史・古代における世界各地（含む日本列島）における考古学の発掘調査や文化財の研究事例を、関連諸分野との学際的な研究成果を中心に考察する。実地見学を実施する。
0123006A1	なら学	青木 美紗, 浅田 晴久, 佐藤 宏明, 西村 さとみ, 西谷 地 晴美, 水垣 源太郎, 武藤 康弘, 寺岡 伸悟	文学部 他	前期 火曜日 7・8時限 S 2 3 5 大講義室	講義	1年次以上	2時間	2単位	皆さんが暮らす（通う）土地となった奈良。その奈良について、いろんな角度から紹介し、講じます。この授業は、「奈良」をキーワードにして、奈良女子大学の多様な学びに触れ・知る「入門」となる授業をルー講義形式でおこないます。（なら学研究センター・文学部なら学プロジェクト提供講義）
0123007E1	なら学+（プラス）	寺岡 伸悟	文学部	後期 火曜日 5・6時限	複合	1年次以上	2時間	2単位	県内企業や自治体、県内教育機関から多彩なゲストを迎え、「奈良」を対象として、その魅力や、地域社会の抱える問題を見つけ、その解決策を考える入り口とする。奈良で働く人からのメッセージを受けてキャリアプランを豊かにし、地域で活躍できる人材の育成を目指す。
0124004A3	社会に出るまでに知っておきたい科学 I (A)	犬伏 雅士, 金井 友希美, 八ヶ代 美佳	理学部 他	前期前半 火曜日 7・8時限 E 3 6 1	講義	3年次以上	2時間	1単位	文系・理系両方の学生を対象に、大学で科学を学ぶ意義や身近な科学についての講義を行う。工学や医学領域の専門家を迎え、最新科学の紹介と考察を実践する。さらに、「自然科学や医療は社会をどう変えたか」をテーマに、史学や工学、医学領域の専門家が、最新科学を理解した市民として生きていくための授業を展開する。
0124005A3	社会に出るまでに知っておきたい科学 I (B)	犬伏 雅士, 上村 尚平, 金井 友希美, 八ヶ代 美佳	理学部 他	前期後半 火曜日 7・8時限 E 3 6 1	講義	3年次以上	2時間	1単位	文系・理系両方の学生を対象に、大学で科学を学ぶ意義や身近な科学についての講義を行う。工学や医学領域の専門家を迎え、最新科学の紹介と考察を実践する。さらに、「自然科学や医療は社会をどう変えたか」をテーマに、史学や工学、医学領域の専門家が、最新科学を理解した市民として生きていくための授業を展開する。
0124006A3	教養としての自然科学 A	瀬戸 蘭美, 高橋 智彦, 山本 一樹, 遊佐 陽一, 小林 毅	理学部	前期 水曜日 9・10時限 S 2 3 5 大講義室	講義	3年次以上	2時間	1単位	文系・理系両方の学生を対象に、大学で科学を学ぶ意義や身近な科学についての講義を行う。さらに、「科学は社会をどう変えたか」をテーマに、科学を全体として捉え、科学に興味を持った市民として社会で生きていくための授業を、理学系の専門分野から行う。
0124007A3	教養としての自然科学 B	瀬戸 蘭美, 高橋 智彦, 山本 一樹, 遊佐 陽一, 小林 毅	理学部	後期 その他 その他	講義	3年次以上	不定期	1単位	文系・理系両方の学生を対象に、大学で科学を学ぶ意義や身近な科学についての講義を行う。さらに、「科学は社会をどう変えたか」をテーマに、科学を全体として捉え、科学に興味を持った市民として社会で生きていくための授業を、理学系の専門分野から行う。
0124008E1	アメリカ学生研修 SEASoN	上村 尚平, 半田 直人, 八ヶ代 美佳, 雲島 知恵	STEAM・融合教育開発機構	不定期集中 その他 その他	複合	1年次以上	不定期	2単位	グローバル人材、女性リーダーを目指す学生のための対面及びオンライン・アメリカ研修。参加者の専門は問わない。 ・国際社会や地域社会の問題の解決方法について講義する。 ・自己認識、自己変革について講義する。 ・アメリカの大学生の学生生活、及び、キャリア形成について講義する。
0122022A3	古典を読むB	尾山 慎, 矢島 洋一, 鈴木 広光	文学部	後期 木曜日 7・8時限	講義	3年次以上	2時間	2単位	法華経、聖書、クルアーン（コーラン）といった「古典」は宗教的な教えを説くだけでなく、人々の生き方や考え方の規範を示し、それを受け入れた人々を統合し、芸術などの文化の源泉となり、文化圏を形成して、現代に至っています。これらの「古典」は成立した時代や場所を越えて、現代社会のそれぞれの文明の礎となっており、現代の多様な社会のあり方を考えるためにその理解は必須です。けれども、現代の日本では聖書、クルアーン、法華経は誰もがその名を知ってはいても、それらが読まれることは多くありません。そこで、この授業では「生き方・考え方の規範としての「古典」というテーマで講義を行い、受講した学生が後にこれらの「古典」を読むための導入としたいと考えています。具体的には、各古典について、構成などの概要、成立、受容の過程、文化への影響、生活への浸透などを講義し、次いで思想の精髓を示す（かつ読んで面白い）箇所を精読するという形で授業を進めていくことにします。
0122024A1	環太平洋くろしお文化論	大賀 克彦, 長田 明日華, 齋藤 恵美, 西村 さとみ, 村上 麻佑子, 矢島 洋一, 田中 希生	文学部 他	後期 木曜日 1・2時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	奈良県は、環太平洋黒潮海廊と古代大和盆地を南北に縦貫する幹線の十字路に位置し、環太平洋黒潮海廊である紀ノ川・吉野川・櫛田川ルートは古代日本の産業・文化幹線であった。この授業では、日本の国と文化が生まれた場としての奈良を紀伊半島と不可分の地としてとらえなおし、その地政学的位置、世界とのつながり、国内交通、中心性を帯びる理由、流通・経済・文化・宗教的背景など、多面的視点から考えていく。
0123008A1	社会学	竹家 一美	文学部	後期 火曜日 7・8時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	この授業では皆さんを社会学の入り口までお連れします。シラバスを読んだ皆さんは、授業で扱うテーマの幅広さにびっくりし、覚えることがたくさんあるのではと不安になっているかもしれません。不安になるのも仕方ありません、社会学は何でも対象にすることができるからです。高校までに習った社会学の授業が得意だった人は、この授業で丸暗記をしようとしなくてください。社会学が苦手だった人は、この授業は少し違う学問だと思って安心してください。社会学は対象となる事象を捉える枠組、つまり、どう捉えるのかがとても大切になってきます。社会学的思考法が身につくと、いままで何気なく触れてきた様々な事象を違う角度から考えたり、今まで気づかなかったことに気づけるようになります。この授業では社会学の歩み、社会学理論、具体的な事例を学び、ご自分の興味ある事象を、これまでとはちょっと違った面から社会学的に考える楽しさを味わえるようになるのを目指します。つまり、これまでの自分とはちょっと違う自分になるということです。

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0123009A1	法律学	松尾 善紀	非常勤講師	前期 金曜日 7・8時限 E108	講義	1年次以上	2時間	2単位	現代社会においては、あらゆる場面・分野において、法の規制や法による保護のシステムが存在し、それぞれの場面・分野ごとに特色を変えながら機能している。このように、現代社会においては、法との関わり合いなくして社会生活を行なうことは、不可能といってよい。一見法とは無縁の生活を送っているかのような通常の社会生活や家庭生活を送る一般人にとっても、紛争や事件に巻き込まれ、その法的解決に迫られる場面がいつ生じても全く不思議ではない状況であり、法的紛争解決の必要性及びそれを必要とする事件や問題の数は年々増大傾向にある。この意味において、かかる場面に遭遇した場合において、どのような法的紛争解決ができるのかについて最低限の知識を得ておくことは、極めて有益である。そこで、本講義では、「法とは何か」という法の基本的性質についての解説とともに、現代社会における法の紛争解決の機能やその運用の実情・問題点について、本学の学生諸君にとって馴染みやすくまた興味深いと思われる複数の分野・問題を中心に、法律実務家の経験・観点から、具体的事例や判例、実際上の紛争解決のプロセス等を交えて解説し、基礎的な知識を修得することを目的とする。 民事事件・刑事事件の手続、民法、刑法の基礎知識、多重債務問題を含めた消費者関連法、女性が紛争当事者となることが多い分野(家事事件・DV事件・ストーカー事件に関連する法など)を解説する。
0123010A1	政治学	小島 吉之	非常勤講師	前期 金曜日 5・6時限 S124	講義	1年次以上	2時間	2単位	この授業は、時事的なトピックに関連して言及されることが多い政治的な課題や論点を題材とし、それらを多角的に検討しつつ、政治学の基本的な知識や考え方について学ぶことを目的としている。授業を通じて政治への関心や理解を深めるとともに、政治学的な発想やアプローチを知ることによって、今後、社会問題を考える上での切り口のひとつとして活用できるようになってほしい。
0123011A1	国際関係論	戸田 真紀子	非常勤講師	後期 月曜日 5・6時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	21世紀になっても、貧困、紛争、HIV/エイズ、地球温暖化など、国際社会は多くの問題に直面しています。「人間の安全保障」という概念が登場したのは、これらの問題に対して、国家が国民を守ることができない、もしくは、守ろうとしない状況がでてきたからです。この講義では、国際社会を様々な方向からみながら、現代の国際関係を考える基本的視座・視点・概念を学んでいきます。 注：教科書使用。LMS活用(諸事連絡、課題提出など)。 今年度の授業はオンデマンド形式で行います。毎回、教科書を読んでもらい、理解を助ける音声付きパワポを見てもらって、課題に答えてもらう形式になります。フィードバックは必要に応じてクラス全体にLMSを使って行います。課題の提出などもすべてLMSを使います。
0123012A1	経済学	宇山 満	非常勤講師	後期 木曜日 3・4時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	現代社会においては、誰もが消費者として、また労働者として、時には生産者としても、現実の経済社会に直面している。これを構成する人や組織さらに全体としての社会の動きを理解する上で必要不可欠なものが経済学である。本講義では、個々の経済主体の行動とその市場における調整に特に焦点を当てる。需要曲線・供給曲線とこれによる市場均衡の考え方を理解するための基礎的知識を学ぶとともに、この考え方を応用できるようにする。
0123013A1	統計学	祐野 恵	非常勤講師	前期 月曜日 3・4時限 G201	講義	1年次以上	2時間	2単位	本講義では、統計学の基本的な考え方について、身近な話題を例にわかりやすく解説します。統計学は、面倒な数学の一分野と敬遠されがちですが、実は、複雑な日常を整理する工夫の一つです。また、統計学は科学的な推論の有効な手段であり、ビッグデータが活用される現代社会において不可欠な知識となっています。学問の分野を問わず、必要となる統計学の基礎的内容を理解できるよう、身の回りの現象を例に解説します。
0123014A1	女性リーダー論	駒谷 昇一・林田 敏子	生活環境学部 他	前期 木曜日 7・8時限 G201	講義	1年次以上	2時間	2単位	いま、世界でも日本でも女性リーダーが求められ、企業でも、リーダーシップはきわめて重要な能力とされています。リーダーシップは天性の資質ではなく、鍛えあげる能力です。たしかにトップリーダーの数は限られています、日常生活では、だれもがそれぞれの適性を活かして他者と協力しながら、多様な意見をまとめ、実行に移していくことが必要です。政治や経済だけでなく、地域や学校でもリーダーが必要なのです。本授業では、女性リーダーが求められる背景・理由を明らかにし、女性の政治参画に関する思索を深め、リーダーシップについての諸理論を学びます。また、第一線で活躍されている研究者や企業の方をお招きし、お話を聞きます。それをふまえて、リーダーシップについて自分たちで考えるグループ発表・討論を行う予定です。
0124009A1	数学入門	小林 毅	理学部	後期 水曜日 5・6時限	講義	1年次以上(数物科学科、旧・数学科以外)	2時間	2単位	前半では数学における論理、数の歴史等について解説する。後半では暗号の歴史、現在の暗号考え方について紹介しそこで数学がどのように生かされるかを講義する。最後にSociety 5.0について紹介しそこの数学の役割について論じる。
0124010A1	生活の中の物理学	蜂谷 崇・吉岡 英生	理学部	後期 月曜日 3・4時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	我々は、知らず知らずのうちに非常に多くの物理学と接し、また物理学を利用しながら日常生活を送っています。この講義では、力学、電磁気、熱力学、振動・波動(光、音)、量子力学といった物理学の各分野において、よく使われる専門用語の意味や、よく知られている法則、定理などについて解説します。さらに、これを使って説明できる自然現象や機器などの動作原理についても、併せて紹介します。
0124011A1	化学の常識	三方 裕司	理学部	後期 火曜日 5・6時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	私たちの豊かな生活はさまざまな化学物質によって支えられている。いろいろな情報が入り乱れる現代社会を生きて行くためには、最低限の化学に関する知識を持ち、身の回りに存在する化学物質の特徴や性質について正しく理解することが必要である。本講義ではまず、化学に関する基礎的事項について学び、私たちの身の回りに存在する無機・有機物質およびそれらの性質に基づく物理現象を正しく理解するために必要な事項について学ぶ。それをもとに、さまざまな局面で活躍する化学物質について理解する。内容の理解を深めるため、講義の途中で提示される課題に関するレポートを作成する。
0124012A1	環境と生物	片野 泉	理学部	後期 水曜日 3・4時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	人間を含む生物は、環境に規定されて存在するとともに、環境に対して大きな影響を与える存在です。本講義では、環境と生物が相互に及ぼし合う影響の中から幾つかのトピックを取り上げ、環境なしに生物は存在しないこと、同時に生物が環境を創出する「生態系エンジニアリング」への理解を深めます。さらに、環境対策の実際の例を取り上げて紹介します。受講者個人のプレゼン、チームによる調査、発表、議論を行うことで、環境と生物の関係について科学的な理解を深めてもらうことを目指します。

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0124015A1	ジェンダー生理学	島本 太香子	非常勤講師	前期 火曜日 7・8時限 G101	講義	1年次以上	2時間	2単位	本講ではジェンダーの「生命科学的な基盤」と「社会、文化的要因」の関わりを考察していく。具体的には、現代社会におけるジェンダーをめぐる様々な課題を、女性のライフサイクルを通じて、産婦人科学的な視点を中心に、胎児学、発達心理学、予防医学、性差医療、産業衛生、母子保健、生命倫理学等の観点から多角的に考察していく。なお、講義では日本だけでなく、広く世界に目を向けて他の文化圏の状況についても取り上げ、必要に応じて今日的な話題を取り入れて、考察を深めていく予定である。
0124016A1	固体地球環境学入門	金 幸隆	非常勤講師	後期 水曜日 9・10時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	地球規模の環境破壊や大規模な自然災害が、人びとの暮らしに影響を与えている。これらの社会問題は、なぜ発生するのだろうか？また現代社会では、これらの問題をどう解決すればよいのだろうか？講義では、太陽系の誕生に遡って、地球環境の成立ちを解き明かす。このことにより、広大な宇宙において現在の地球の自然環境が奇跡的な存在であり、それが生きとし生けるものにとって唯一無二の存在であることに気づくであろう。さらに地震、火山、津波、土砂動態および気候変動と気候変化のメカニズムを知ることにより、皆さんは自然災害から命を守るための防災の大切さとその基礎を学べるであろう。
0124017A1	科学史	杉本 舞	非常勤講師	後期 金曜日 5・6時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	本科目では、古代から近代に至る自然科学（とくに天文学・物理学・化学）の歴史を概観する。十七世紀のいわゆる「科学革命」の理解を通じて、人間がどのように自然を理解してきたか、自然科学とはどのような学問か、自然科学の方法がどのように発展してきたかを学ぶ。また、科学史の歴史記述（ヒストリオグラフィ）のありかたについても学ぶ。
0124018A1	生活と色彩	北口 紗織	非常勤講師	前期 水曜日 3・4時限 G101	講義	1年次以上	2時間	2単位	私たちの生活は「色彩」で溢れている。無意識に色を感じ、意識的に色を作り出す。本講義では、私たちがどのように色を見ているのかという色覚のメカニズムやどのように色を定量的に表現できるのかなどの色彩工学の基礎から、私たちの受ける印象や感じ方などを含む色彩心理や色彩感情について解説し、さらにカラーユニバーサルデザインなど生活場面での「色彩」の使い方を取りあげながら、「色彩」について学ぶ。
0122025A1	自然環境の地理学	高田 将志	文学部	後期 火曜日 5・6時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	本講では、世界の自然環境について解説します。その過程で、世界の様々な自然・景観が、何故そこに存在するのか、あるいはそれがどのように生まれ維持されてきたのか、などについて、とくに気候を中心に据えながら、基礎的な知識と考え方を学んでもらいます。また、教科書に指定した地図帳を授業時間内に頻りに参照することで、受講者の空間認知度を高めることも目標としています。
0124019A1	健康・スポーツ科学	浅野 友之,石坂 友司,高德 希,未定,藤原 素子,星野 聡子,成瀬 九美	生活環境学部	後期 木曜日 7・8時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	健康科学・スポーツ科学の入門。現代社会において人々が健康で充実した生活を過ごすために、スポーツや運動の果たす役割は大きい。遊びやスポーツの歴史をたどり、現代スポーツが抱える問題、社会環境と身体との関わり、年齢変化に伴う心身機能の変化、スポーツや運動の実施が心身にもたらす効用など、スポーツ科学領域の知見をもとにした6つのテーマを、資料や事例をもとに各教員がルー形式で解説する。
0124020A1	人体科学	大高 千明,中田 大貴,芝崎 学	工学部	後期 月曜日 3・4時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	人体の構造の概観および身体構造の構築レベルから人体の特徴を学習する。ヒトの骨格と筋肉の解剖学的特徴からバイオメカニクス的な特性を理解し、脳機能との連関、特にヒトの動作における意思の影響と、運動継続にともなう疲労の影響を学習することで、ヒトと機械との運動機構の相違点を理解する。 (中田大貴／5回) 随意運動に関わる中枢神経系の解剖学的・機能学的特性を学習し、ヒトの行動の生成と制御について理解を深める。 (芝崎学／5回) 運動時の自律神経系の調節（呼吸・循環・体温など）を学習することで、生体の力学的な運動原理および運動機構との連関への理解を深める。 (大高千明／5回) 身体構造における力学的な運動特性およびメカニズム、また骨格と筋肉に関する解剖学的特徴についての理解を深める。
0124021A1	ベーシックサイエンス I	上村 尚平,小路 田 俊子,齋藤 恵美	理学部 他	前期 月曜日 3・4時限 Z306	講義	1年次以上	2時間	2単位	現代社会において科学はなくてはならないものになっているが、文系の学生が科学について学ぶ機会は少なく、理系の学生も広い視野に立って科学を考えるとなしに専門に進むことが多い。そこで、文系と理系の両方の学生を対象とし、幅広い科学の活動の一端を講義するとともに、学問をする上で自分の考えを正確に言葉で表現するための方法を講義する。 講義の前半では重力に関する物体の運動を、ニュートンのプリンキピアで用いられた幾何的な手法を用いて議論する。特殊相対論についても議論する。後半では「存在とはなにか」という普遍的なテーマについて、物理学と仏教学の2つの立場から光を当てる。仏教は近代科学以前に発展した思想体系であり、人が「私」や「自然」をどう理解してきたのかを探る学問である。物理学は自然を数学の言葉によって合理的に理解することに努め、現在も進行中の学問である。「存在とはなにか」を考える糸口として4つのテーマを置き、それを双方から論じ合うことで存在概念を深める。
0124022A1	ベーシックサイエンス II	小路田 俊子,半田 直人	理学部	後期 月曜日 3・4時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	現代社会において科学はなくてはならないものになっているが、文系の学生が科学について学ぶ機会は少なく、理系の学生も広い視野に立って科学を考えるとなしに専門に進むことが多い。そこで、文系と理系の両方の学生を対象とし、幅広い科学の活動の一端を講義する。前半では物理学の基礎概念である「力」、「空間」、「場」、「粒子と波動」、「量子」などについて、歴史的な視点を踏まえながら講義を行う。歴史的な視点を踏まえるのは、これらの概念の超え方について考えるためである。素粒子物理学における研究の話題についても触れる。 地球は約46億年という長い時間の中で、その表層における大陸の配置や環境を変化させ、またそこに生息する生物は進化・絶滅を繰り返した。講義の後半ではそうした地球史の理解を目指し、地球表層および内部の構造について講義し、地震・火山の仕組みとその活動を解説する。また地球史における生物進化の例として陸生哺乳類の進化を学習し、今回は身近な動物の進化を解説する。

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0125003E1	日本文化と地域社会A	松永 光代,松原千恵,高須 夫悟	国際交流センター	前期集中 その他 その他 国際セミナー室	複合	留学生	集中30時間	3単位	Aiming to train internationally active pro-Japan female leaders, this course provides students from overseas universities with opportunities to understand and experience both traditional and modern Japanese culture. Students will study and experience both traditional and modern Japanese culture through many lectures and various field work as well as interactions with NWU students, and will discuss the unique and universal aspects of Japanese culture by comparing it with their own culture.
0125004E1	日本文化と地域社会B	松永 光代,松原千恵,高須 夫悟	国際交流センター	前期集中 その他 その他 国際セミナー室	複合	留学生	集中30時間	3単位	本学が大学間学生交流協定を結ぶ海外協定校の学生を対象に、奈良及び日本の魅力を学び、それを次世代の、特に女性の視点で世界に多言語で発信していける人材を育成することを目的としている。 日本有数の文化遺産を多く抱える古都・奈良の地で、留学生が日本の伝統文化・歴史を学ぶと同時に、その古くからの伝統が現代にどのような形で受け継がれているのかを体験を通して理解する。また、日本語に対して、言語学的なアプローチと、万葉集などの和歌に使われる表現豊かな日本語を講義することで、日本語という言語に対する理解を深め、日本文化を理解する一助とする。
0125005E1	日本文化と地域社会C(1)	松永 光代,松原千恵,高須 夫悟	国際交流センター	前期不定期 その他 別記	複合	留学生	不定期	2単位	本学が大学間学生交流協定を結ぶ海外協定校の学生を対象に、日本の文化や歴史、現代社会の問題、奈良を中心とする地域社会について、奈良女子大学の教員等による講義をオンラインおよびオンデマンド形式で実施する。この学習を通して参加学生が奈良及び日本の魅力を多角的に学び、それを次世代の、特に女性の視点で世界に多言語で発信していく力を身に付けることを目的とする。また、オンラインでの学生交流の時間では、日本語を実際に使う機会を持つことで、参加学生の日本語能力を高めることを目的とする。日本語初学者を対象とし、必要に応じて英語でのフォローも交える。
0125007E1	日本文化と地域社会D(1)	松永 光代,松原千恵,高須 夫悟	国際交流センター	前期不定期 その他 別記	複合	留学生	不定期	2単位	本学が大学間学生交流協定を結ぶ海外協定校の学生を対象に、日本の文化や歴史、現代社会の問題、奈良を中心とする地域社会について、奈良女子大学の教員等による講義をオンラインおよびオンデマンド形式で実施する。この学習を通して参加学生が奈良及び日本の魅力を多角的に学び、それを次世代の、特に女性の視点で世界に多言語で発信していく力を身に付けることを目的とする。また、オンラインでの学生交流の時間では、日本語を実際に使う機会を持つことで、参加学生の日本語能力を高めることを目的とする。日本語能力試験N3レベルの日本語学習者を対象に行う。
0125006E1	日本文化と地域社会C(2)	松永 光代,松原千恵,高須 夫悟	国際交流センター	後期不定期 その他 別記	複合口	留学生	不定期	2単位	本学が大学間学生交流協定を結ぶ海外協定校の学生を対象に、日本の文化や歴史、現代社会の問題、奈良を中心とする地域社会について、奈良女子大学の教員等による講義をオンラインおよびオンデマンド形式で実施する。この学習を通して参加学生が奈良及び日本の魅力を多角的に学び、それを次世代の、特に女性の視点で世界に多言語で発信していく力を身に付けることを目的とする。また、オンラインでの学生交流の時間では、日本語を実際に使う機会を持つことで、参加学生の日本語能力を高めることを目的とする。日本語初学者を対象とし、必要に応じて英語でのフォローも交える。
0125008E1	日本文化と地域社会D(2)	松永 光代,松原千恵,高須 夫悟	国際交流センター	後期不定期 その他 別記	複合	留学生	不定期	2単位	本学が大学間学生交流協定を結ぶ海外協定校の学生を対象に、日本の文化や歴史、現代社会の問題、奈良を中心とする地域社会について、奈良女子大学の教員等による講義をオンラインおよびオンデマンド形式で実施する。この学習を通して参加学生が奈良及び日本の魅力を多角的に学び、それを次世代の、特に女性の視点で世界に多言語で発信していく力を身に付けることを目的とする。また、オンラインでの学生交流の時間では、日本語を実際に使う機会を持つことで、参加学生の日本語能力を高めることを目的とする。日本語能力試験N3レベルの日本語学習者を対象に行う。
0125009E1	Modern Japanese Literature and Media A	トーマス ハックナー	文学部	前期 火曜日 3・4時限 S 1 2 4	複合	1年次以上	2時間	2単位	This course provides students with a general survey of modern Japanese literature from late 19th to mid-20th century. Through the analysis of major works it examines how Japanese literature has evolved during this period. Particular attention is given to its interconnectedness with cinema and other media.
0125010E1	Modern Japanese Literature and Media B	トーマス ハックナー	文学部	後期 火曜日 3・4時限	複合	1年次以上	2時間	2単位	This course provides students with a general survey of modern Japanese literature from mid-20th century until today. Through the analysis of major works it examines how Japanese literature has evolved during this period. Particular attention is given to its interconnectedness with cinema and other media.
0125011E1	Japanese Culture and History A	サポー ジュジャンナ	非常勤講師	前期 水曜日 3・4時限 S 1 2 5	複合	1年次以上	2時間	2単位	This course focuses on the process of modernization in Japan and examines Japan's encounter with the international scene. The first semester provides a broad overview of Japanese history from the Meiji Restoration to the Great Kanto Earthquake. The cultural introduction to the period will focus on literary works, but the students will peruse a wide range of other sources also (literary and cultural criticism, news paper articles, manga, films, etc.). These sources will be examined in their historical, social, literary and cultural contexts from a comparative perspective.
0125012E1	Japanese Culture and History B	サポー ジュジャンナ	非常勤講師	後期 水曜日 3・4時限	複合	1年次以上	2時間	2単位	This course focuses on the process of modernization in Japan and examines Japan's encounter with the international scene. The second semester provides a broad overview of Japanese history from the Great Kanto Earthquake to the beginning of the 'bubble'. The cultural introduction to the period will focus on literary works, but the students will peruse a wide range of other sources also (literary and cultural criticism, news paper articles, manga, films, etc.). These sources will be examined in their historical, social, literary and cultural contexts from a comparative

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0125013E1	Contemporary Japanese Society A	樽井 由紀	非常勤講師	前期 金曜日 7・8時限 A棟情報処理教育室	複合	1年次以上	2時間	2単位	This class introduces the contemporary Japanese society for not only international students but also Japanese students. Packed with explanations and dynamic images, it ranges from the popular culture to the latest trend.
0125014E1	Contemporary Japanese Society B	樽井 由紀	非常勤講師	後期 金曜日 7・8時限	複合	1年次以上	2時間	2単位	This class reinvents Contemporary Japanese society for the international students. Classes are developed to pop cultural genres, with attention to the star, idols, and urban subcultural genres — Otakus, Gals, Lolitas, and Cosplay.
0125015E1	Traditional Japanese Culture A	渡辺 恭彦	非常勤講師	前期 月曜日 7・8時限 S 1 2 4	複合	留学生	2時間	2単位	In this class we deal with the general information needed for studying in Japan. In the early part of the class , I explain the various themes concerning Japan such as the religion and the history. In the latter part, we investigate the characteristics of Japanese mind through the classic Japanology works. For the time being, I'd like to read "Iki no kozo"by Kuki Shuzo. I'd like to introduce the discussion between students who take the course and compare the respective cultures.
0125016E1	Traditional Japanese Culture B	渡辺 恭彦	非常勤講師	後期 月曜日 7・8時限	複合	留学生	2時間	2単位	In this class we deal with the Japanese social movement,, especially focusing on 1960's student movement.
0125017E1	Global Studies and Communication A	大高 千明.鍵和田 聡.須賀 あゆみ.キャサリン 山根	非常勤講師	前期 金曜日 5・6時限 D 0 1 2	複合	1年次以上	2時間	2単位	This class is intended as an intermediate-level communication course for students preparing to study abroad. Specifically, the course will focus on developing the communication and listening skills so important in today's world. Each week the students will be given many opportunities to practice using English in a variety of situations. Pair, group and individual activities focusing on National Geographic video clips will inspire students to talk about their experiences as they learn about the world. An important component of the course is communication with overseas ESL instructors. The course will be limited to 24 students.
0125018E1	Global Studies and Communication B	大高 千明.鍵和田 聡.須賀 あゆみ.キャサリン 山根	非常勤講師	後期 金曜日 5・6時限	複合	1年次以上	2時間	2単位	This class is intended as an intermediate-level communication course for students preparing to study abroad. Specifically, the course will focus on developing the communication and listening skills so important in today's world. Each week the students will be given many opportunities to practice using English in a variety of situations. Pair, group and individual activities focusing on National Geographic video clips will inspire students to talk about their experiences as they learn about the world. An important component of the course is communication with overseas ESL instructors. The course will be limited to 24 students.
0123016A1	奈良を知る	森田 尋子	社会連携センター	後期集中 その他別記	講義	1年次以上	集中15時間	1単位	「奈良町」をフィールドとして、地域のイベントに参加することで、地域の歴史・文化に関する知識を深めるとともに、企画・運営・コミュニケーション能力を高める。
0124014A3	教養としての化学数学	吉村 倫一	理学部	前期前半 月曜日 5・6時限 G 1 0 1	講義	3年次以上	2時間	1単位	化学を学び理解するうえで数学はとても重要で、数学抜きでは考えることはできない。化学の分野では、数学によって理解がより深まるという事項が少なくなく、現象の理解や解析にとって数学は重要である。なかでもフーリエ解析は、化学の分野では自然現象を解析し解釈する強力な手段であり、赤外分光やNMR、回折・散乱、透過電子顕微鏡を用いたさまざまな物質の構造解析に役立つ。本講義では、数学を専門的に扱うのではなく、化学を学ぶ上で、数学がどのように使われているかをフーリエ解析を中心に示しながら、それらに必要な数学の実際を演習を交えながら解説する。
0123017A3	数理・データサイエンス・AI	瀧本 栄二	情報基盤センター	後期集中 その他別記	講義	3年次以上	1時間	1単位	「数理・データサイエンス・AI」技術は、今や文理を問わず求められる知識である。本講義では、現代社会において「数理・データサイエンス・AI」が我々の生活に密着した幅広い分野の問題解決に利用されつつある現状を学ぶとともに、実際にデータを活用する基本的な技術、および現場での活用事例を通してデータ・AI利活用に関する知識を習得する。また、データには個人情報等、扱いに留意すべき点があり、データの扱いと保護に関する留意事項についても学ぶ。 本講義は文科省の「数理・データサイエンス・A I 教育プログラム」に該当する科目である。全講義が終了後は、受講生各自に理解度確認テストを受講してもらい、合格者には当該教育プログラムの修了証を授与する。

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0122026E1	奈良と教育－ここはどこ？私は誰？－	小野寺 香	アドミッションセンター	前期 火曜日 9・10時限 S228	複合	1年次以上	2時間	2単位	<p>あなたは今、どこで学んでいますか？ 大阪でも京都でも、東京でもなく、奈良。その奈良にある奈良教育大学／奈良女子大学。では、なぜあなたはこの大学で学んでいるのですか？</p> <p>あなたは、この大学で学んで、何になろうとしていますか？ 奈良にある二つの国立大学は、これまで多くの優れた教師を輩出してきました。他ならぬ奈良で学んで教師になること（あるいは、ならないこと）には、何か特別な意味がありますか？</p> <p>「教育」という視点から見たとき、奈良は、実はかなりユニークな特質をもった地域です。たとえば、古都の歴史や文化財。神話以来の古い土地柄と「奈良府民」。高い学力と低い（？）体力。「新教育」の伝統。日本一高い専業主婦率と日本一遅い（お父さんの？）帰宅時間、などなど。そして学校や教師のあり方は、その土地に固有の教育風土や文化風土と密接に結びついています。奈良で教師になる人はもちろん、奈良以外で教師になる人にとっても、「教育」という視点から奈良を考えることは、教師が自分が働く地域を知り、賢明につきあう練習になります。教師にならない人にとっても、奈良というユニークな地域と教育との関係は、日本の社会の今を考える興味深い手がかりを、たくさん与えてくれます。</p> <p>この授業では、奈良女子大学と奈良教育大学の学生がともに学び、両大学の教員が協力して、新しい教養教育のアプローチ（参照：奈良女子大学の教養）を駆使して、教育という視点から奈良を理解し、また逆に奈良から日本の教育の歴史と現状、課題を浮き彫りにすること、そして受講者の皆さんが他ならぬ奈良における自ら学びの意味を問い直すこと―それを目指します。</p>
0210001A1	現代社会と職業	未定	文学部	前期 火曜日 9・10時限 N101	講義	1年次以上	2時間	2単位	<p>「働いて生きる」ということの意味を、真剣に考えてみたことがあるだろうか。「会社」とはどんな世界か。1970年代以降の雇用状況は？働く者はどのような法で守られているのか。経済はどのようにソフト化・サービス化しているのか。大学・企業・自治体等はどのような職場なのか。そもそも働いて生きることは、どのような意味において「自己実現」でありうるのかなど、本講義では、ゲストスピーカーによる講義を中心に、「職業」という視点から、働くこと、生きることの意味と現代社会の仕組みを学び、ともに考えていきます。</p>
0210002A1	専門職論（文学部）【文系スペシャリストへの道】	未定	文学部	後期 月曜日 9・10時限	講義	1年次以上	2時間	1単位	<p>文学部で学ぶことのできる学問領域をベースにして、さらに専門的な知識や能力を持つ文系スペシャリストへとキャリアアップする道を探求する授業である。自分自身の興味関心がどのような専門職に結びつく可能性があるのか、また、それを実現するためには学生時代、卒業後にどのような努力が必要なのか、などの問題について考える。様々な業界で活躍する、本学OGを中心とするゲストスピーカーの経験談を聞くこと、その方たちと対話すること、そして受講生同士が自分たちの思いを語り合うことを通じて、専門職への理解を深め、将来のキャリアを確立する手助けとする。</p>
0210003A1	専門職論（理学部）【理系のスペシャリストをめざして】	片野 泉	理学部	後期 月曜日 9・10時限	講義	1年次以上	2時間	1単位	<p>21世紀の現代、女性が専門的知識を活用できる仕事を持ち自立して生きることがいっそう求められており、特に理系分野では専門的知識を身につけた有用な人材が社会において大いに必要とされている。本講義では理学部で学ぶことの意義を考える場とともに、理系の専門家をめざす学生に対して自らの進むべき道を考えるきっかけを提供する。各分野の学内講師が専門職やキャリアに関わる講義を行い、また社会のさまざまな分野で活躍しているゲストスピーカーも学外より招き、ディスカッションできる場も提供する。</p>
0210004A1	専門職論（生活環境学部）【めざせ生活環境学のスペシャリスト】	小倉 裕範	生活環境学部	後期 月曜日 9・10時限	講義	1年次以上	2時間	1単位	<p>生活環境にかかわる学習、研究を通じて得た専門的知識や技術を、社会において生かして自らの進むべき道を考え、さらに生活環境系の専門家をめざす自覚を促す一助となるような内容を提供する。具体的には、専門的知識を身につけ、社会のそれぞれの分野で活躍されている卒業生の諸先輩方をはじめ、多彩なゲストをスピーカーとしてお招きし、専門職への理解を深める。</p> <p>また、学生時代に身につけておきたいことなどにかかわるアドバイスをいただきつつ、将来のキャリアプラン、ライフプランについて考える機会を提供する。</p>
0210005B1	異文化理解と平和構築（ニュージーランド研修）	松永 光代	国際交流センター	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	集中30時間	2単位	<p>キャリアデザイン・ゼミナールB（48） グローバル女性人材養成プログラム（ニュージーランド）参加者を対象とした事前学習授業。具体的には、研修地であるニュージーランド、クライストチャーチについての調べ学習やプレゼンテーションを行う他、研修の一環として現地で日本文化紹介を行う準備をする。</p>
0210101B1	キャリアデザイン・ゼミナールA（11）	松田 寛	生活環境学部	前期 水曜日 9・10時限 第6演習室（A205）	演習	全学1～4回生（主として1・2回生）	2時間	1単位	<p>具体的な物語の執筆や添削によって、各々が書きたいテーマで訓練しながら育成することを実践し、特に、創作系のキャリアに役立てられるような文章力の向上を目指す。プロットの構成・文章表現の工夫・執筆と添削などの基本的な文章修練を行う。複数人の意見を出し合っよりレベルの高い文章力の習得を目指す。また、あらゆる系統のキャリアや岐路選択に役立てられるような生活判断力の向上を目指す。日常生活の問題点を点検しながらアイデアの創出を図る。関連する特許・実用新案などの情報や法規制について理解する。</p> <p>後期開講のキャリアに活かす知の技法 IIにつながる。</p>
0210102B1	キャリアデザイン・ゼミナールA（12）	松田 寛	生活環境学部	後期 水曜日 9・10時限	演習	全学1～4回生（主として1・2回生）	2時間	1単位	<p>前期に引き続いて、同様の演習を行う。具体的な物語の執筆や添削によって、各々が書きたいテーマで訓練しながら育成することを実践し、特に、創作系のキャリアに役立てられるような文章力の向上を目指す。プロットの構成・文章表現の工夫・執筆と添削などの基本的な文章修練を行う。複数人の意見を出し合っよりレベルの高い文章力の習得を目指す。また、あらゆる系統のキャリアや岐路選択に役立てられるような生活判断力の向上を目指す。頻度の高い疾病やけがについての説明と応急処置の理解。AEDの使用法、薬害問題や流行感染症など、最近話題の疾患や薬害などについての医学知識の整理。</p>
0210106B1	キャリアデザイン・ゼミナールA（16）	松永 光代・高須 夫悟	国際交流センター	前期集中 その他 その他 国際セミナー室	演習	全学1～4回生	集中	1単位	<p>TOEFL対策講座。英語圏への留学や大学院受験でTOEFL対策が必要な学生向けの講座。TOEFLとはどういう試験なのか？というところから、四技能（Reading, Listening, Writing, Speaking）や語彙などの自律的な学習方法、問題の解き方や注意点を短期間で集中的に紹介する。最終日に授業内試験を実施するが、目的はあくまでも紹介した学習方法や問題の解き方の確認と現在の自分の力を把握することであり、試験の結果が成績評価に反映されるということではない。実践を交えて行うので、積極的な参加態度を求める。</p>

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0210109B1	キャリアデザイン・ゼミナールA (19)	松永 光代	国際交流センター	前期 木曜日 9・10時限 S124	演習	留学生	2時間	1単位	日本での就職や母国の日系企業への就職を考える留学生が対象。ビジネスマナーや敬語について学習する他、実践的なシチュエーションを交えてビジネスメールを書く練習や就職活動時に必要となる自己PRの練習を行う。また、併せて日本の企業文化や日本人のコミュニケーションについても考える機会とする。座学ではなく多くの練習を行うため、積極的な参加態度を求める。
0210110B1	キャリアデザイン・ゼミナールA (20)	松永 光代	国際交流センター	後期 木曜日 9・10時限	演習	留学生	2時間	1単位	日本での就職や母国の日系企業への就職を考える留学生が対象。ビジネスマナーや敬語について学習する他、実践的なシチュエーションを交えてビジネスメールやビジネス文書を書く練習を行う。また、併せて日本の企業文化や日本人のコミュニケーションについても考える機会とする。座学ではなく多くの練習を行うため、積極的な参加態度を求める。
0210111B1	キャリアデザイン・ゼミナールA (21)		非常勤講師		演習	全学1~4回生	2時間	1単位	挨拶などの初歩から基本的なコミュニケーションができるレベルまで、楽しくかつ実践的に学ぶ手話入門講座。毎授業時、ろう者のゲスト・スピーカーを招き、生きた手話表現を学びます。受講生が手話の単語・文章表現を練習する機会を豊富に設け、基本的な手話を読み取り、表現する力を身につけることを目指します。また、手話が果たす役割と日本手話の特徴、ろう文化などを学ぶ機会も随時取り入れます。なお、本授業の発展的内容として前期後半に手話コミュニケーション(実践)が開講されます。
0210112B1	キャリアデザイン・ゼミナールA (22)		非常勤講師		演習	全学1~4回生	2時間	1単位	前期前半に開講される手話コミュニケーション(入門)に引き続き、手話で基本的なコミュニケーションができるレベルを目指し、楽しくかつ実践的に学ぶ手話講座。毎授業時、ろう者のゲスト・スピーカーを招き、生きた手話表現を学びます。受講生が手話の単語・文章表現を練習する機会を豊富に設け、基本的な手話を読み取り、表現する力を身につけることを目指します。また、手話が果たす役割と日本手話の特徴、ろう文化などを学ぶ機会も随時取り入れます。
0210113B1	キャリアデザイン・ゼミナールA (31)	松永 光代	国際交流センター	前期集中 その他別記	演習	留学生	集中	1単位	日本での就職や母国の日系企業への就職を考える海外協定大学の留学生が対象。ビジネスマナーや敬語について学習する他、実践的なシチュエーションを交えてビジネスメールを書く練習や就職活動時に必要となる自己PRの練習を行う。また、併せて日本の企業文化や日本人のコミュニケーションについても考える機会とする。座学ではなく多くの練習を行うため、積極的な参加態度を求める。
0210114B1	キャリアデザイン・ゼミナールA (32)	松永 光代	国際交流センター	後期集中 その他別記	演習	留学生	集中	1単位	日本での就職や母国の日系企業への就職を考える海外協定大学の留学生が対象。ビジネスマナーや敬語について学習する他、実践的なシチュエーションを交えてビジネスメールやビジネス文書を書く練習を行う。また、併せて日本の企業文化や日本人のコミュニケーションについても考える機会とする。座学ではなく多くの練習を行うため、積極的な参加態度を求める。
0210203B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (11)	高村 仁知	生活環境学部	後期不定期 その他その他	演習	全学1~4回生	不定期	1単位	「奈良の食をさぐる」：近年、地域で生産した食材を地域で消費する「地産地消」運動が、地域活性化とも関連して盛んになりつつある。奈良県においても大和野菜などの農産物を始め様々な食材が生産されているが、知名度はまだ高くない。本科目では、奈良の食プロジェクトの活動を通じ、学生が主体となり、地産地消や地域活性化の取り組みに参画することを通して、奈良の食と地域活性化について理解を深める課題解決型授業を行う。
0210205B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (17)	高村 仁知	生活環境学部	前期不定期 その他その他 D120	演習	全学1~4回生	不定期	1単位	「奈良の食を知る」：近年、地域で生産した食材を地域で消費する地産地消運動が、地域活性化とも関連して盛んになりつつある。奈良県においても大和野菜などの農産物を始め様々な食材が生産されているが、知名度はまだ高くない。本科目では、奈良の食プロジェクトの活動を通じ、学生が主体となり、地産地消や地域活性化の取り組みに参画する。これにより、奈良の食に関する理解と関心を高めるとともに、地産地消や地域活性化の取り組みを理解する課題解決型授業を行う。
0210208B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (37)	松原 千恵,村田 賀依子,高須 夫悟	国際交流センター 他	前期集中 その他 その他 国際セミナー室	演習	全学1~4回生	集中	1単位	異なる国・地域出身の学生が協同的に課題を発見し、自主企画を検討・実践する国際グループワーク。全8回の授業のなかで、学生がお互いの文化・言語に触れながら、どのようにすれば国際交流が可能になるかについてディスカッションを行い、最終的には学内・学外に向けて国際交流や異文化理解につながるような企画を検討・実践する。グループワークは基本的に日本語で行う(メンバーの状況によって他言語や様々なツールを使用し、コミュニケーションをはかること)。
0210209B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (38)	松原 千恵,村田 賀依子,高須 夫悟	国際交流センター 他	後期集中 その他 その他	演習	全学1~4回生	集中	1単位	異なる国・地域出身の学生が協同的に課題を発見し、自主企画を検討・実践する国際グループワーク。全8回の授業のなかで、学生がお互いの文化・言語に触れながら、どのようにすれば国際交流が可能になるかについてディスカッションを行い、最終的には学内・学外に向けて国際交流や異文化理解につながるような企画を検討・実践する。グループワークは基本的に日本語で行う(メンバーの状況によって他言語や様々なツールを使用し、コミュニケーションをはかること)。
0210217B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (46)	松永 光代,松原 千恵,高須 夫悟	国際交流センター 他	前期集中 その他 その他 国際セミナー室	演習	全学1~4回生	集中	1単位	国際交流センターが、海外の交流協定大学からの留学生を対象に実施する短期プログラム(留学生を招く、もしくはオンライン上で実施)において、運営補助および学生交流企画の立案・実行をする。海外学生を招くことができれば、歓送迎会や放課後交流企画の準備、プログラム中の1コマを使って日本文化の紹介をするための準備を行う。オンラインで実施する場合は、日本文化を紹介する授業動画の作成とプログラム期間中の日本語レッスンの補助と交流企画運営を行う。 参加する留学生は、各大学で日本語を学習しているため、基本的には日本語での意思疎通が可能であるが、日本語のレベルによっては英語でのコミュニケーションを必要とすることもある。
0210218B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (47)	前田 真砂美,松永 光代,高須 夫悟	国際交流センター 他	前期集中 その他 その他	演習	全学1~4回生	集中	1単位	中国屈指のレベルを誇る南京大学における中国語短期研修。南京大学海外教育学院にて一ヶ月の間集中して中国語の授業を受け、中国語運用能力の向上を図るとともに、太極拳や切り絵等の中国文化体験や南京市内見学を行う。また、南京大学日本語学科の学生と定期的に交流する機会を設け、実践的なコミュニケーションの機会とする。

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0210219B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (48)	松永 光代,高須 夫悟	国際交流センター 他	後期集中 その他 その他	演習	全学1~4回生	集中	1単位	NWU Study Abroad Progam (New Zealand). A short-term English training course, conducted at Lincoln University located in historical Christchurch. During this one-month intensive course, students will cultivate their English abilities, with a particular focus on academic English, under the assumption that the students will go on to study abroad at an English-speaking university. There will also be opportunities to participate as an exhibitor in local events introducing Japanese culture to attendees, as well as those to volunteer in event management. Individuals wishing to participate in these events will be obliged to attend a course that is held later on entitled "Cross-cultural communication and peace-building." Concrete details regarding the outline of the course will be given by the International Exchange Center during an explanatory meeting held in July.
0210223B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (52)	公庄 直樹,戸田 直美,室崎 千重	生活環境学部	後期集中 その他 その他	演習	全学1~4回生	集中	1単位	奈良東南部地域の特色である林業について総合的に理解し、奈良の木の暮らしの中での活用について学ぶ。奈良の木を用いたモノ作りを通して素材としての木を理解し、木のある暮らしで使うモノを考え提案する。奈良十津川村にて間伐材伐採体験や地域の暮らしの体験を通じて、林業や地域への理解を深める。奈良女子大学内にて地域、人、暮らし、木をテーマとした「鹿と木マルシェ」を計画、運営する。
0210225B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (54)	松永 光代,高須 夫悟	国際交流センター 他	不定期 その他 その他	演習	全学1~4回生	不定期	1単位	キャリアデザイン・ゼミナールB (54)「国際チャレンジ活動A」。科目化されていない大学等主催の海外研修や、個人で計画した海外における活動（留学、インターンシップ等）の中で、キャリア形成に有益であると認められるものについて単位を認定する。海外における活動時間は22.5時間以上必要（オンライン留学の場合は、オンライン授業15時間以上に自主学習時間を含めて22.5時間を満たせば申請可）。なお、事前に履修登録を行う必要はない。卒業・修了年度の学生は、活動終了日が10月1日以降の計画については申請不可。留学計画を立てる際は、当該科目のウェブサイト「海外渡航の際の注意点」を必ず確認すること。
0210229B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (58)	大高 千明,松永 光代,高須 夫悟	国際交流センター 他	前期集中 その他 その他	演習	全学1~4回生(主として3・4回生)	集中	1単位	NWU Study Abroad Program (Philippines). At the English language school QQ English, located on the Philippines' Cebu Island, intensive training will be conducted to improve practical English skills, with a particular focus on speaking ability. Concrete details regarding the outline of the course will be given by the International Exchange Center during an explanatory meeting held in April.
0210230B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (59)	松永 光代,高須 夫悟	国際交流センター 他	後期集中 その他 その他	演習	全学1~4回生	集中	1単位	NWU Study Abroad Program (Thailand). English public speaking and presentation training will be conducted at the Chiang Mai University Language Institute, a distinguished national university in northern Thailand. Students will work to acquire the ability to confidently express their ideas in English during academic presentations, presentations related to their future jobs, or other such opportunities. Internships at local hotels, schools, and children's homes will also be conducted. Concrete details regarding the outline of the course will be given by the International Exchange Center during an explanatory meeting held in October.
0210236B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (65)	松原 千恵,高須 夫悟	国際交流センター 他	不定期 その他 その他 国際セミナー室	演習	留学生	不定期	1単位	留学生のインターンシップ参加に単位認定を行う「留学生インターンシップチャレンジ」。企業や地方自治体の事業での研修など、科目化されていないインターンシッププログラムの中で活動を行い、その中でキャリア形成に有益であると認められるものについて単位を認定する。活動時間は22.5時間以上必要。なお、事前に履修登録を行う必要はない。（留学生のみ対象。4回生は、活動終了日が年内の計画について申請可）具体的な授業の概要については、国際交流センターが開く説明会で指示する。
0210240B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (69)	二井 仁美,堀本 三和子	教育システム研究 開発センター	不定期 その他 その他	演習	全学1~4回生	不定期	1単位	「地域とつながり、支えられる教師になるために」 奈良市は全国に先がけて全ての市立小中学校をコミュニティスクール化して、さらに学校と地域との連携活動を活発に推進しています。この授業では、奈良市教育委員会地域教育課、奈良教育大学と連携して、奈良市内の地域教育協議会が行う様々な活動（学習支援や体験活動支援、広報やイベントの企画運営など）への参画を通じて、地域とつながり、それに支えられる学校・教師のあり方を具体的に学びます。また、地域の側からは、子どもの教育を核としたコミュニティづくりを体験します。
0210241B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (70)	松永 光代,松原 千恵,高須 夫悟	国際交流センター 他	後期集中 その他 その他	演習	全学1~4回生	集中	1単位	国際交流センターが、海外の交流協定大学からの留学生を対象に実施する短期プログラム（留学生を招く、もしくはオンライン上で実施）において、運営補助および学生交流企画の立案・実行をする。海外学生を招くことができれば、歓送迎会や放課後交流企画の準備、プログラム中の1コマを使って日本文化の紹介をするための準備を行う。オンラインで実施する場合は、日本文化を紹介する授業動画の作成とプログラム期間中の日本語レッスンの補助と交流企画運営を行う。 参加する留学生は、各大学で日本語を学習しているため、基本的には日本語での意思疎通が可能であるが、日本語のレベルによっては英語でのコミュニケーションを必要とする場合もある。
0210242B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (71)	松永 光代,高須 夫悟	国際交流センター 他	不定期 その他 その他	演習	全学1~4回生	不定期	1単位	キャリアデザイン・ゼミナールB (71)「国際チャレンジ活動B」。科目化されていない大学等主催の海外研修や、個人で計画した海外における活動（留学、インターンシップ等）の中で、キャリア形成に有益であると認められるものについて単位を認定する。海外における活動時間は22.5時間以上必要（オンライン留学の場合は、オンライン授業15時間以上に自主学習時間を含めて22.5時間を満たせば申請可）。なお、事前に履修登録を行う必要はない。卒業・修了年度の学生は、活動終了日が10月1日以降の計画については申請不可。留学計画を立てる際は、当該科目のウェブサイト「海外渡航の際の注意点」を必ず確認すること。

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0210243B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (72)	松永 光代,高須 夫悟	国際交流センター 他	不定期 その他 その他	演習	全学1~4回生	不定期	1単位	キャリアデザイン・ゼミナールB (72)「国際チャレンジ活動C」。科目化されていない大学等主催の海外研修や、個人で計画した海外における活動(留学、インターンシップ等)の中で、キャリア形成に有益であると認められるものについて単位を認定する。海外における活動時間は22.5時間以上必要(オンライン留学の場合は、オンライン授業15時間以上に自主学習時間を含めて22.5時間を満たせば申請可)。なお、事前に履修登録を行う必要はない。卒業・修了年度の学生は、活動終了日が10月1日以降の計画については申請不可。留学計画を立てる際は、当該科目のウェブサイト「海外渡航の際の注意点」を必ず確認すること。
0210244B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (73)	松永 光代,高須 夫悟	国際交流センター 他	不定期 その他 その他	演習	全学1~4回生	不定期	1単位	キャリアデザイン・ゼミナールB (73)「国際チャレンジ活動D」。科目化されていない大学等主催の海外研修や、個人で計画した海外における活動(留学、インターンシップ等)の中で、キャリア形成に有益であると認められるものについて単位を認定する。海外における活動時間は22.5時間以上必要(オンライン留学の場合は、オンライン授業15時間以上に自主学習時間を含めて22.5時間を満たせば申請可)。なお、事前に履修登録を行う必要はない。卒業・修了年度の学生は、活動終了日が10月1日以降の計画については申請不可。留学計画を立てる際は、当該科目のウェブサイト「海外渡航の際の注意点」を必ず確認すること。
0210245B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (74)	松永 光代,高須 夫悟	国際交流センター 他	不定期 その他 その他	演習	全学1~4回生	不定期	1単位	キャリアデザイン・ゼミナールB (74)「国際チャレンジ活動E」。科目化されていない大学等主催の海外研修や、個人で計画した海外における活動(留学、インターンシップ等)の中で、キャリア形成に有益であると認められるものについて単位を認定する。海外における活動時間は22.5時間以上必要(オンライン留学の場合は、オンライン授業15時間以上に自主学習時間を含めて22.5時間を満たせば申請可)。なお、事前に履修登録を行う必要はない。卒業・修了年度の学生は、活動終了日が10月1日以降の計画については申請不可。留学計画を立てる際は、当該科目のウェブサイト「海外渡航の際の注意点」を必ず確認すること。
0210247B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (76)	松原 千恵,高須 夫悟	国際交流センター 他	不定期 その他 その他 国際セミナー室	演習	全学1~4回生	2時間	1単位	奈良女子大学在学中の留学生・日本人学生を対象とした、国際交流センター主催のインターンシッププログラム「国際交流インターンシップ」。企業や地方自治体の事業での研修などに参加しながら、留学生・日本人学生が協同で課題に取り組む。協力企業や団体の持つ地域的・業界的課題を通して、日本への理解を深め、解決に向けて学生ならではの視点やアイデアを練り上げ、提示していくことを目指す。
0210248B1	キャリアデザイン・ゼミナールB (77)	大谷 円,酒井 敦	国際交流センター 他	不定期 その他 その他	演習	全学1~4回生	2時間	1単位	奈良の自然環境の恵みと潜在的なリスク、奈良の自然環境の中で暮らしてきた先人たちの知恵、奈良の環境を求めて最近移住してきた方々の考え方を学ぶ。さらに、豊かで持続可能な社会を構築するために教育や技術、文化など多方面で種々の取り組みを行っている奈良近隣の各種組織・団体について調査・見学・活動体験等を行うとともに、農作物の栽培に取り組み、自然の恵みを食料に変える活動を体験してもらう。一連の活動を通じ、「奈良の自然環境」「大和・紀伊半島学」「流域学」をキーワードに、自然環境と調和して暮らしていく方法について考える機会を提供する。
0210249B1	キャリアデザイン・ゼミナールC (3)	上田 信輔,木嶋 宏行,小西 克典,前田 泰之,皆木 良介,奥山 二郎	非常勤講師	前期 水曜日 7・8時限 E109	演習	全学1~4回生	2時間	1単位	「財政・金融はどうなっている?~私たちの生活から考えてみよう~」をテーマに、私たちの日々の生活と切っても切れない関係にある財政や金融について、財務省近畿財務局の職員及び同局奈良財務事務所の幹部が講師を務め、自らの経験を交えてわかりやすく解説する。講義では、暮らしの中で国のお金がどのように使われているのかを概観したうえで、膨大な借金を抱えている日本の財政の現状と課題について考えるほか、金融機関の概要や金融商品の仕組み、国有財産、経済情勢、企業の分析方法等について解説し、それらに関する基礎知識や行政の取組みについて学習する。なお、講義ではパワーポイントを使用し、適宜、ビデオ上映、レジュメ・パンフレット等の資料配布を行う。
0210251B1	キャリアデザイン・ゼミナールC (8)	福一 由紀	非常勤講師	前期前半 金曜日 9・10時限 E109	演習	全学1~4回生	2時間	1単位	人生には様々な場面でお金が必要となり、今後、結婚・育児・住宅取得・老後といった場面においては大きな支出が伴ってきます。本講義では、パーソナルファイナンスについて学習することで、人生における支出について個人が責任と計画性を持って行い、また貯蓄や運用、リスクマネジメントを意識的に行う必要があることを学びます。ファイナンシャル・プランナー資格に興味のある方の受講も歓迎します。
0210252B1	キャリアデザイン・ゼミナールC (9)	寺岡 伸悟	文学部	前期 金曜日 9・10時限 N101	演習	全学1~4回生	不定期	1単位	奥大和(奈良県吉野郡)の「下北山村」を対象として、熊野川流域という特色ある流域における、自然環境に生かされ、それらと共に生きて歴史や文化を育んできた人々の様々な生き方や、村の魅力に触れる授業です。また下北山村には、日本の農山村に共通の地域課題がありますが、一方で、旧来の村民以外にも、自分らしいライフスタイルの実現を求めて都市部から移住してきた人々や、定住しないまでも「関係人口」として定期的の下北山村を訪問する人々の存在が増加しています。ゲストのトークを参考にしつつ、地域課題の解決策を考えるとともに、なぜこのような人々はこの村と関わりを持ちたいと思うのか、その背景を探り、受講者自身の生き方を考える機会ともしたいです。
0210401D1	インターンシップ I	三方 裕司	工学部	不定期 その他 その他	実習	全学2回生以上		1単位	奈良県インターンシップ推進協議会が主催するインターンシップで、奈良県内の企業を受入先として行われます。現場における実際の業務に取り組む就業体験を伴い、企画提案や課題解決の実務を体験する等のテーマ性を持たせた教育的観点からも有意義なプログラムとなる予定です。実施スケジュールは現在奈良県庁が企画しており、学生募集は5月下旬、インターン実施は8~9月頃の予定です。内容が確定次第、学内掲示やさくら連絡網にてお知らせします。
0220001E1	教職論 (A)	二井 仁美	文学部	後期 水曜日 3・4時限	複合	1年次以上	2時間	2単位	学校という場で教師は、公教育の担い手として授業やカリキュラムを構成し、子どもとの生活を通して、その成長と発達を促す省察的実践を行う。多様な環境に育ち、それぞれの個性を有する子どもを廻るさまざまな課題に、教師は、学校内外の人々と連携・協働しながら、どのようにチームの一員としてその役割を果たすのか。本授業では、学校をめぐる今日的状況や教職の歴史を素材として、教員の役割と職務を理解するとともに、教職の意義と課題について考察する。 ●平成22年度以降入学者「教職実践演習」の為にレポート作成対象科目

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0220002E1	教職論 (B)	二井 仁美	文学部	前期集中 その他 その他	複合	1年次以上	集中30時間	2単位	学校という場で教師は、公教育の担い手として授業やカリキュラムを構成し、子どもとの生活を通して、その成長と発達を促す省察的実践を行う。多様な環境に育ち、それぞれの個性を有する子どもを廻るさまざまな課題に、教師は、学校内外の人々と連携・協働しながら、どのようにチームの一員としてその役割を果たすのか。本授業では、学校をめぐる今日的状況や教職の歴史を素材として、教員の役割と職務を理解するとともに、教職の意義と課題について考察する。 ●平成22年度以降入学者「教職実践演習」の為のレポート作成対象科目
0220004E2	教育原理 (A)	盧 珠妍	非常勤講師	後期集中 その他 その他	複合	2年次以上	集中30時間	2単位	「教育とは何か」「人間にとってなぜ教育は必要なのか」という問いから、教育という営みの必要性と可能性について理念的・思想的・歴史的に考察するとともに、現在の学校教育の役割や課題、学校と地域の連携について考え、将来教師としての自分の仕事を実践的・原理的に理解するための基礎を身につける。
0220005E2	教育原理 (B)	盧 珠妍	非常勤講師	後期 火曜日 1・2時限	複合	2年次以上	2時間	2単位	「教育とは何か」「人間にとってなぜ教育は必要なのか」という問いから、教育という営みの必要性と可能性について理念的・思想的・歴史的に考察するとともに、現在の学校教育の役割や課題、学校と地域の連携について考え、将来教師としての自分の仕事を実践的・原理的に理解するための基礎を身につける。
0220006A2	教育社会学 (A)	富江 英俊	非常勤講師	前期 木曜日 1・2時限 N 1 0 1	講義	2年次以上	2時間	2単位	本講義では、子どもの現状を把握した上で、学校が子どもにとってどういう意味があるのかを、学校社会学や教育組織論の理論を使って考察する。その上で、今日の教育改革の大きな流れの一つである市場化・自由化をふまえつつ、近年の大きな教育問題とされる教育格差に触れることにしたい。
0220007A2	教育社会学 (B)	保田 卓	文学部	前期 金曜日 3・4時限 G 2 0 1	講義	2年次以上	2時間	2単位	本講義では、子どもの現状を把握した上で、学校が子どもにとってどういう意味があるのかを、学校社会学や教育組織論の理論を使って考察する。その上で、今日の教育改革の大きな流れの一つである市場化・自由化をふまえつつ、近年の大きな教育問題とされる教育格差に触れることにしたい。
0220008A2	教育心理学 (A)	竹橋 洋毅	文学部	前期 火曜日 9・10時限 G 1 0 1	講義	2年次以上	2時間	2単位	この授業で扱うのは、乳児期～青年期に至るまでの人の学び（学習）の過程、発達の過程に関わる内容である（「障がいのある児童生徒の理解と支援」に関する内容も含む）。前半では主に「学習」に関する内容が、後半では主に「発達」に関する内容が取り扱われる。授業においては、これらの内容の背景にある心理学の理論や考え方に触れつつ、実際の幼児や児童生徒の様相との関連づけにもできるだけ取り組んでいく。
0220009A2	教育心理学 (B)	堀田 千絵	非常勤講師	後期集中 その他 その他	講義	2年次以上	集中	2単位	この授業で扱うのは、乳児期～青年期に至るまでの人の学び（学習）の過程、発達の過程に関わる内容である（「障がいのある児童生徒の理解と支援」に関する内容も含む）。前半では主に「学習」に関する内容が、後半では主に「発達」に関する内容が取り扱われる。授業においては、これらの内容の背景にある心理学の理論や考え方に触れつつ、実際の幼児や児童生徒の様相との関連づけにもできるだけ取り組んでいく。
0220010A2	特別支援論	狗巻 修司	文学部	前期集中 その他 その他	講義	2年次以上	集中15時間	1単位	発達障害を中心とした、特別な教育的支援ニーズをもつ生徒への適切な対応が、現代における教育の中心的政策課題の一つに挙げられている。本講義では、特別支援教育の動向についての基礎知識について解説する。また、障害を中心とした特別な支援ニーズをもつ生徒の特性に関する基礎知識について概説するとともに、その知識を用いて発達や障害特性に応じた教育的支援のあり方を考究していく。さらに、『特別な教育的支援ニーズ』を「障害」や「発達の遅れ」のみに矮小化する視点ではなく、多様な文化的背景をもつ対象や、いわゆる「ギフトッド」と呼ばれる対象へも拡大させる視点の必要性についても解説する。
0220011A2	教育課程論 (A)	小野寺 香	アドミッションセンター	前期前半 金曜日 9・10時限 G 1 0 1	講義	2年次以上	2時間	1単位	様々な教育課程編成の理論、またそれらの理論の基盤となる教育哲学・教育思想を概説するとともに、諸外国の教育課程、教育課程における社会関係を解明し、教育課程の編成と学校教育の方法に関する理論的・実践的方略を講じる。 ●平成22年度以降入学者「教職実践演習」の為のレポート作成対象科目
0220012A2	教育課程論 (B)	大貫 守	アドミッションセンター	前期集中 その他 その他 N 1 0 1	講義	2年次以上	集中15時間	1単位	現代的な課題などを踏まえつつ、児童・生徒たちに何を学んで欲しいのかを考えながら、教育課程を構想・実践・改善できるようになるために、教育課程の歴史的展開や、教育課程編成と授業づくりの方法など、教育課程についての基礎的な理論と具体的な方法を学ぶ。
0220013A2	特別活動論 (A)	小野寺 香	アドミッションセンター	前期後半 金曜日 9・10時限 G 1 0 1	講義	2年次以上	2時間	1単位	学校教育における学級活動、生徒会活動、学校行事の概要、ならびにその教育的意義について解明し、学校の創意工夫を生かした特別活動の指導法について講義する。また、道徳、総合的な学習の時間の指導法についても触れる。
0220014A2	特別活動論 (B)	奥本 陽子	非常勤講師	後期前半 火曜日 3・4時限	講義	2年次以上	2時間	1単位	教師に必要な特別活動の基礎知識の習得を目指して、新学習指導要領等を参照しつつ、特別活動の意義や歴史を概説する。次に、映像や資料を用いて特別活動の実践事例（学級活動・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事、クラブ活動等）を取り上げながら、特別活動についての理解を深める。また、地域との連携、特別活動の評価など、特別活動の実践的な指導力の習得を目指す。
0220015A2	特別活動論（道徳、総合的な学習の時間に関する内容を含む。） (A)	小野寺 香	アドミッションセンター	前期後半 金曜日 9・10時限 G 1 0 1	講義	2年次以上	2時間	1単位	学校教育における学級活動、生徒会活動、学校行事の概要、ならびにその教育的意義について解明し、学校の創意工夫を生かした特別活動の指導法について講義する。また、道徳、総合的な学習の時間の指導法についても触れる。
0220016A2	特別活動論（道徳、総合的な学習の時間に関する内容を含む。） (B)	奥本 陽子	非常勤講師	後期前半 火曜日 3・4時限	講義	2年次以上	2時間	1単位	教師に必要な特別活動の基礎知識の習得を目指して、新学習指導要領等を参照しつつ、特別活動の意義や歴史を概説する。次に、映像や資料を用いて特別活動の実践事例（学級活動・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事、クラブ活動等）を取り上げながら、特別活動についての理解を深める。また、地域との連携、特別活動の評価など、特別活動の実践的な指導力の習得を目指す。

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0220017A2	教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）	赤沢 早人	奈良教育大学	前期 木曜日 9・10時限 G101	講義	2年次以上	2時間	2単位	「教科の内容に詳しい」だけでは、先生として十分に教えることはできません。「話し上手」だけでも、先生として十分に教えることはできません。本科目では、学校（小学校・中学校・高校）での授業実施を念頭に置きながら、「教師が児童・生徒に教えるとはどういうことか」について、理論的・実践的に深めていきます。なお近年では、GIGAスクール構想などの推進により、一般的な公立学校でも情報通信技術（ICT）を活用した授業が日常的になっています。このため本科目でも、伝統的な「チョーク&トーク」にとどまらず、情報通信技術を活用した「令和の授業」のあり方についても検討していきます。
0220018A2	視聴覚教育法	浅田 瞳	非常勤講師	後期集中 その他 その他	講義	2年次以上	集中30時間	2単位	本講義は、視聴覚教育の財産の活用を意識した展示の仕方、プレゼンテーション、そして学校での授業を展開していくためにどのような工夫があるかを理解し、それが実践できることを主なテーマとして取り上げる。
0220019A2	道徳教育の理論と実践（A）	池田 華子	非常勤講師	前期 月曜日 3・4時限 N201	講義	2年次以上	2時間	2単位	国内外における道徳教育の理論やそれをめぐる歴史的経緯等の理論的側面と、学校における道徳科の学習指導案の作成方法等の実践的側面の両面を踏まえた、道徳教育に関する総合的な力を身につけることを目指す。地域や家庭の教育力が低下し、グローバル化とともに伝統的な価値の相対化が進む現代社会ではその大きな変化に対応すべく、道徳の教科化をはじめ、道徳や倫理への関心がますます高まっていると言える。そうした現状を踏まえた上で、道徳教育について、「道徳」とは何か、何が「道徳教育」なのかという根本的な問いにまで遡りながら学ぶ。
0220020A2	道徳教育の理論と実践（B）	小野 文生	非常勤講師	前期集中 その他 その他 N101	講義	2年次以上	集中30時間	2単位	国内外における道徳教育の理論やそれをめぐる歴史的経緯等の理論的側面と、学校における道徳科の学習指導案の作成方法等の実践的側面の両面を踏まえた、道徳教育に関する総合的な力を身につけることを目指す。地域や家庭の教育力が低下し、グローバル化とともに伝統的な価値の相対化が進む現代社会ではその大きな変化に対応すべく、道徳の教科化をはじめ、道徳や倫理への関心がますます高まっていると言える。そうした現状を踏まえた上で、道徳教育について、「道徳」とは何か、何が「道徳教育」なのかという根本的な問いにまで遡りながら学ぶ。
0220021A2	総合的な学習の時間の理論と実践	北尾 悟、吉川 裕之、堀本 三和子	附属中等教育学校等	前期集中 その他 その他	講義	2年次以上	集中15時間	1単位	「総合的な学習の時間」（小・中・高）に関わる授業構成論（授業づくり論）である。「総合的な学習の時間」のテーマ設定、児童・生徒の活動分析や教材開発の仕方、学習指導案などの検討を通して、授業遂行のための実践的力量形成をめざす。講義は大きく2つの部分からなる。ひとつは、「総合的な学習の時間」のめざすものを理解するとともに、具体的な実践事例を通して、発達段階を踏まえた学習計画を立案する基礎的能力の育成を目指す。もう一つは、グループあるいは個人で、教材開発、学習指導案の作成、学生同士による相互評価を行う演習形式の部分である。
0220026A2	中等教科教育法 国語Ⅰ	村山 太郎	非常勤講師	前期 木曜日 5・6時限 A203	講義	2年次以上	2時間	2単位	学校国語教育の実際を学ぶことで国語科教育の現在を理解し、国語の授業を構想する体験を通して国語の授業を考え、構想、表現、発表、批評をすることで、国語科教育のこれからを考え、創造（想像）しようとする力を身につける。これに関わって、本講義では、学科の専門教育科目（教科に関する専門的事項）とのつながり、学習指導要領に関する講義、教授法に関する理論、評価に関する理論、教材研究を適宜取り扱う。
0220027A2	中等教科教育法 国語Ⅱ	村山 太郎	非常勤講師	前期 木曜日 7・8時限 A203	講義	2年次以上	2時間	2単位	教材分析や授業構想に必要な、諸方法論を学び、それらを用いた教材分析および授業構想を自ら行い、ともに批評しあい、互いの力を伸張する。従って、本科目は「講義」と「模擬授業」で構成されている。この「模擬授業」を通して、指導案作成の要点・国語の授業者としての立居振舞・授業後の質疑応答（授業の説明）の仕方・授業を振り返り指導案を修正する姿勢を身につけ、実践的な力の育成を企図する。これに関わって、本講義では教材研究から指導案作成、さらには単元計画、指導案に関する講義と実際の演習、板書計画を適宜取り扱う。
0220028A2	中等教科教育法 国語Ⅲ	荒木 由弥	附属中等教育学校	後期 水曜日 9・10時限	講義	2年次以上	2時間	2単位	新しい学習指導要領での学力観・教員観・学校観に基づく国語科の授業づくり能力の基礎を育むことを目的とする。そのための基礎的な知識について担当教員による講義と受講生のディスカッションによって習得を図る。また、上記の3つの観に基づく国語科の授業づくり実践をおこなう。
0220029A2	中等教科教育法 国語Ⅳ	金沢 節子	附属中等教育学校	前期 水曜日 9・10時限 E107	講義	2年次以上	2時間	2単位	本講座では、国語科教育における「読むこと・書くこと」を中心にして、教材内容の検討、授業実践の分析、教材開発の仕方、学習指導案の検討、模擬授業の実践などを通じて、国語科の授業を構想し実践できる力を養うことを目指す。既存の教科書教材だけでなく新たな教材の開発や分析、先行の教育授業実践の検討を行うことで、中等教育（中学校・高等学校）段階の「読むこと・書くこと」の可能性を追究する。グループ単位での話し合いや発表を授業でつねに行い、他者との交流を重視した授業を目指す。とりわけ現代文や古文が中心になるが、「読むこと・書くこと」の面白さや楽しさを実感できるような授業構想や授業実践について受講生とともに考えていく。
0220034A2	中等教科教育法 英語Ⅰ	西本 有逸	非常勤講師	前期 月曜日 3・4時限 S125	講義	2年次以上	2時間	2単位	1) 英語教師に必要な知識と理論を習得する。 2) 理論と実践を往還しながら指導法を考える。 3) 指導案（細案）を作成し模擬授業を行い批評・検討し合う。
0220035A2	中等教科教育法 英語Ⅱ	西本 有逸	非常勤講師	後期 月曜日 3・4時限	講義	2年次以上	2時間	2単位	中学校高校の英語科教育におけるタスクとテストの作成能力を養いながら、より良い評価について考える。

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0220036A2	中等教科教育法 英語Ⅲ	平田 健治・金折 典子	附属中等教育学校	前期 月曜日 9・10時限 S124	講義	2年次以上	2時間	2単位	<p>授業概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教員として求められる資質能力とは何かを理解する。 2. 英語教員に求められる「英語力」「英語授業力」とは何かを理解する。 3. 中学校及び高等学校の外国語（英語）の学習指導要領について理解し、それに基づいた授業計画の立案・授業実践を行う力をつける。 4. さまざまな外国語教育研究から得られる外国語（英語）指導法を理解し、活用する力をつける。 5. 英語科の授業づくりに必要となる基礎的知識および技能を修得する。 6. 授業計画立案、授業実践、評価、省察を行える力をつける。 7. ICTを活用して授業を実践する力をつける。
0220037A2	中等教科教育法 英語Ⅳ	大菅 暢子・塩川 史	附属中等教育学校	後期 月曜日 9・10時限	講義	2年次以上	2時間	2単位	<p>本授業では、現行の中学校・高等学校の検定教科書を教材にした模擬授業実践（マイクロティーチング）を行う。ここで言う授業実践力とは、指導案作成、指導案を読み込む力、授業観察力、分析力、自己を省察する力など、全般を指すものである。授業担当者は、まず、担当教員の指導とアドバイスに基づき指導案を作成する。次に、指導案に基づいて、受講生を生徒役として模擬授業を行う。模擬授業に続いて、グループもしくはペアでディスカッションを行う。各授業の最後にはミニレポートを課す。</p>
0220038A2	中等教科教育法 社会Ⅰ（地歴分野）	落葉 典雄・笠井 智代	附属中等教育学校	前期集中 その他 その他	講義	2年次以上	集中30時間	2単位	<p>中等教育前期（中学段階）における社会科（地理的分野・歴史的分野・公民的分野）は、後期（高校段階）において地理歴史科と公民科に分かれる。本講義では、中等教育6年間の地理・歴史教育を見通しつつ、必履修の前期における「基礎・基本」となる教育内容を考えていく。また、高校で新たに必修科目となった地理総合の柱である「GIS」を活かした教育方法の転換についても考えていく。</p>
0220039A2	中等教科教育法 社会Ⅱ（公民分野）	渡辺 雅幸	非常勤講師	前期 月曜日 7・8時限 S125	講義	2年次以上	2時間	2単位	<p>まず、授業の前半では、学習指導要領に示された「公民」の目標や内容について論じたいうえで、効果的な指導方法や情報機器及び教材の活用法、学習指導案の作成方法などについて検討する。また、授業の後半では、受講者に模擬授業を行ってもらい、その後受講者全員で模擬授業の内容について議論をする。さらに、「公民」の実践事例についても検討する。全体を通じて、新たな時代を担う「公民」の教師には何が求められ、また何をすべきかについて考え、それらを実践できるようになることを目指す。</p>
0220040A2	中等教科教育法 社会Ⅲ（地歴分野）	北尾 悟	附属中等教育学校	前期 水曜日 1・2時限 S124	講義	2年次以上	2時間	2単位	<p>社会科、主として地歴分野の授業構成論（授業づくり論）である。地歴分野の授業構成論、授業の分析や教材開発の仕方、指導案などの検討を通して、地歴分野の授業を遂行するための実践的力量形成をめざす。講義は大きく二つの部分からなる。一つは、講義形式あるいは著名な教育実践分析を通して授業づくりの基礎的知識の取得を目指す部分。もう一つは、個人で、教材開発、学習指導案の作成、模擬授業の実践という演習形式の部分である。本講座は、学生の気づきや学習観の転換を生むために、この二つの要素を車の両輪として進めていく。</p>
0220041A2	中等教科教育法 社会Ⅳ（公民分野）	中村 博之・鮫島 京一	附属中等教育学校	前期 月曜日 9・10時限 S125	講義	2年次以上	2時間	2単位	<p>中等教育社会科公民分野の授業構成論（授業研究）である。公民分野の授業構成論、授業の分析や教材開発の仕方、指導案の検討などを通して、公民分野の授業を行うための実践的力量を形成することを目指す。講義は以下の第1部、第2部の2つの部分からなる。第1部は講義形式あるいはケーススタディを通じて、授業づくりの基礎的知識の獲得を目標とする。第2部は、グループあるいは個人単位で、教材開発、学習指導案の作成、模擬授業の実践・授業の事後検討という演習形式とする。本講義の全体像は、学生が主体的に課題に取り組む第2部を重点領域とみなして構成する。</p>
0220044A2	書道科教育法Ⅰ	福光 由布	非常勤講師	前期 火曜日 5・6時限 S123	講義	2年次以上	2時間	2単位	<p>「高校書道Ⅰ・Ⅱ」の教科書を機軸に、楷書・行書・草書の代表的な古典作品の臨書を通して、それぞれの運筆や用筆、書体や書風の特徴を理解し、教材研究の一環として、臨書作品と創作作品とを制作する。併せて、授業において必要な情報機器や教材の活用法を指導する。「臨書」と「創作」で得た経験を活かし、指導案を作成し、模擬授業をおこなう。</p>
0220045A2	書道科教育法Ⅱ	福光 由布	非常勤講師	後期 火曜日 5・6時限	講義	2年次以上	2時間	2単位	<p>「高校書道Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の教科書を機軸に、仮名・篆書・隷書の代表的な古典作品の臨書を通して、それぞれの用筆と、書体や書風の特徴を理解し、教材研究の一環として、臨書作品、創作作品を制作する。併せて、授業において必要な情報機器や教材の活用法を指導する。「臨書」と「創作」で得た経験を活かし、指導案を作成し、模擬授業をおこなう。</p>
0220046A2	中等教科教育法 数学Ⅰ	大西 俊弘	非常勤講師	前期集中 その他 A棟情報処理教育室.前期集中 その他 その他 D012	講義	2年次以上	集中30時間	2単位	<p>中学校や高等学校の数学科教員として必要な資質（数学的な教養と教育技術）の習得を目的とする。できる限り多くの具体例を紹介し、実践的な講義とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中学校・高等学校の教材内容を概観し、数学教育の意義について理解を深める。 2. 数学教育へのICT機器の活用について、理解を深める。 <p>講義だけでなく、学生間の討論を重視し、講義の3分の1程度は、ICTを活用した教材開発・授業方法に関する実習を行う。</p>
0220047A2	中等教科教育法 数学Ⅱ	大西 俊弘	非常勤講師	後期集中 その他 その他	講義	2年次以上	集中30時間	2単位	<p>数学科教員として必要な資質（数学的な教養と教育技術）の習得を目的とする。できる限り多くの具体例を紹介し、実践的な講義とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教材内容を概観し、数学教育の意義について理解を深める。 2. 数学教育にICT機器を活用できる力を養う。 3. 先輩教員の授業実践について学び、授業力を高める。 <p>講義だけでなく、模擬授業なども行い、講義の3分の1程度は、ICT活用に関する実習を行う。</p>
0220048A2	中等教科教育法 数学Ⅲ	高森 智子	附属中等教育学校	前期 月曜日 9・10時限 E107	講義	2年次以上	2時間	2単位	<p>数学科、主に高等学校教員としての授業構成論（授業づくり論）である。「代数的分野」「幾何的分野」「関数的分野」「確率・統計的分野」の各領域について、教材内容の検討、授業実践の分析、教材開発の仕方、学習指導案の検討、模擬授業の実践などを通して、数学科の構想し実践できる力を養うことを目指す。なお、この授業では、模擬授業後の意見交換を重視する。</p>

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0220049A2	中等教科教育法 数学Ⅳ	佐藤 大典	附属中等教育学校	後期 月曜日 9・10時限	講義	2年次以上	2時間	2単位	数学科、主に中学校教員としての授業構成論（授業づくり論）である。「数と式」「図形」「関数」「資料の整理」の各領域について、教材内容の検討、授業実践の分析、教材開発の仕方、学習指導案の検討、模擬授業の実践などを通して、数学科の構想し実践できる力を養うことを目指す。なお、この授業では、グループ単位での話し合いや発表を行い、他者との交流を重視する。
0220050A2	中等教科教育法 理科Ⅰ	守本 寛治・鶴飼 哲真	附属中等教育学校	前期 金曜日 9・10時限 E108	講義	2年次以上	2時間	2単位	我が国の理科教育について、学習の内容と学習形態に着目し、過去の状況とも比べつつ考察する。教材研究や教材開発などの意義と、授業内での活用法を考察する。理科で何を教えるのか、またどのように学ばせるべきかを学習指導案の作成や附属中等教育学校の授業実践例を通して考える。ICTの有効活用についても教育現場の実践例や受講生同士のディスカッションから考察することで、受講生自身の模擬授業にいかす。課題研究や理科クラブ活動の取組、高校生による国際共同課題研究について、教育現場での実践をもとに紹介する。
0220051A2	中等教科教育法 理科Ⅱ	石井 俊行	奈良教育大学	後期集中 その他 その他	講義	2年次以上	集中30時間	2単位	<ul style="list-style-type: none"> 日本の理科教育の課題について、学習の内容に着目し、過去の状況とも比べつつ考える。 教材研究や教材開発などの意義と理科の授業内での活用法を考察する。併せて、ICTやモデル教材等の有効活用についても考察する。 自身で模擬授業を行うとともに、他者の模擬授業の観察を通して授業ではどのような点に注意していくべきかについて考察する。 理科カリキュラムの構造について講義するとともに、理科で何を教えるのか、また何を教えるべきかを互いに授業を通して考察する。 論文の書き方と読み方の技法がどのようなものかを考え、習得する。
0220052A2	中等教科教育法 理科Ⅲ	森本 弘一・石井 俊行	奈良教育大学	前期集中 その他 その他 N101	講義	2年次以上	集中30時間	2単位	<ul style="list-style-type: none"> 科学概念や理科の学習内容の具体例を取り上げ、概念獲得に至る学びが、どのような体験と思考のプロセスによって成立するのかについて考える。 授業の計画と実践の工夫について、具体的な授業テーマの例を挙げて、それらに関連する論文を読みながら検討する。 実験・観察を積極的に取り入れた楽しい理科の授業創造について考察するとともに、ICTやモデル教材等の有効な活用法についても考察する。
0220053A2	中等教科教育法 理科Ⅳ	石井 俊行	奈良教育大学	後期 火曜日 9・10時限	講義	2年次以上	2時間	2単位	<ul style="list-style-type: none"> 科学概念や理科の学習内容の具体例をいくつか挙げて、概念獲得に至る学びが、どのような体験と思考のプロセスによって成されるかについて考える。 授業の計画と実践の工夫について、具体的な授業テーマの例を挙げて検討する。 実験・観察を積極的に取り入れた楽しい理科の授業創造について考察するとともに、ICTやモデル教材等の有効な活用法についても考察する。 教材研究や教材開発について講義し、それらを理科の授業内でいかに活かすかを考察する。 理科で何を教えるべきかを授業観察を通して考察する。
0220054A2	情報科教育法Ⅰ	伊藤 剛和	奈良教育大学	前期集中 その他 その他 G401	講義	2年次以上	2時間	2単位	最新の教育の情報化について理解し、学習の基盤となる資質・能力である情報活用能力の向上と、高等学校における教科「情報Ⅰ・Ⅱ」を指導するための実践力を養うことを目的とします。
0220055A2	情報科教育法Ⅱ	伊藤 剛和	奈良教育大学	後期 木曜日 3・4時限	講義	2年次以上	2時間	2単位	情報科教育法Ⅰに続いて、高等学校における教科「情報Ⅰ・Ⅱ」を指導するための実践力を養うことを目的とします。
0220056A2	中等教科教育法 家庭Ⅰ	榎原 典子	非常勤講師	前期集中 その他 その他	講義	2年次以上	集中30時間	2単位	家庭科が果たしてきた役割や特徴について取り上げるとともに、中等家庭科において生徒に求められる資質と能力について解説し、現代の生活における家庭科の教育的価値について受講者とともに考える。また、中学校「技術・家庭（家庭分野）」および高等学校「家庭」の目標および内容について、学習指導要領をもとに解説するとともに、具体的な学習内容を例にして、授業づくりを念頭に、教材研究のし方・指導案の書き方を演習的に取り上げる。
0220057A2	中等教科教育法 家庭Ⅱ	鈴木 洋子	非常勤講師	前期 火曜日 9・10時限 E102	講義	2年次以上	2時間	2単位	中学校技術・家庭（家庭分野）の教育的役割や学習内容、ならびに学習指導方法について概説する。アクティブ・ラーニングを体験的に学ぶ。
0220058A2	中等教科教育法 家庭Ⅲ	鈴木 洋子	非常勤講師	前期集中 その他 その他 D012	講義	2年次以上	集中30時間	2単位	高等学校家庭の授業づくりを、教材研究と模擬授業を中心に行う。具体的には、学習指導案の作成と模擬授業を通して、授業を計画し実施する際のポイントを実践的に学ぶ。
0220059A2	中等教科教育法 家庭Ⅳ	鈴木 洋子	非常勤講師	後期集中 その他 その他	講義	2年次以上	集中30時間	2単位	中学校技術・家庭（家庭分野）の授業づくりについて教材研究と学習指導案の作成、模擬授業を中心に行い、授業を計画し実施する際のポイントを実践的に学ぶ。さらに、調理題材の選定や定期試験の問題作成、家庭科だよりの発行を通して家庭科教育への理解を深める。
0220060A2	中等教科教育法 保健Ⅰ	岡崎 勝博	非常勤講師	前期集中 その他 その他 E109	講義	2年次以上	集中	2単位	この授業では、保健授業づくりの理論を解説し、マイクロティーチングによる模擬授業を行う。各自が作成した授業プランをもとに模擬授業を行い、理論と実践の統一を図る。模擬授業をもとにグループでディスカッションして授業プランを批判的に検討し、保健づくりの能力を養う。
0220061A2	中等教科教育法 保健Ⅱ	岡崎 勝博	非常勤講師	後期集中 その他 その他	講義	2年次以上	集中	2単位	この授業では、保健授業づくりの理論を解説し、マイクロティーチングによる模擬授業を行う。各自が作成した授業プランをもとに模擬授業を行い、理論と実践の統一を図る。模擬授業をもとにグループでディスカッションして授業プランを批判的に検討し、保健づくりの能力を養う。
0220062A2	中等教科教育法 体育Ⅰ	石坂 友司	生活環境学部	前期 水曜日 1・2時限 N201	講義	2年次以上	2時間	2単位	高等学校保健体育科の授業実践に必要な「目標」や「内容」を理解し、その目標や内容を具体的な教材として展開するための「方法」を学ぶ。そのことを踏まえ、保健体育科に関わった体育授業を計画・実践できるようになることを目標とし、さらに、模擬授業として実際に立案・展開し、保健体育教師としての実践的な授業展開技術を習得する事を目的とする。

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0220063A2	中等教科教育法 体育Ⅱ	小坂 美保	非常勤講師	後期 火曜日 5・6時限	講義	2年次以上	2時間	2単位	中学校保健体育科の授業実践に必要な「目標」や「内容」を理解し、その目標や内容を具体的な教材として展開するための「方法」を学ぶ。そのことを踏まえ、保健体育科に関わった体育授業を計画・実践できるようになることを目標とし、さらに、模擬授業として実際に立案・展開し、保健体育教師としての実践的な授業展開技術を習得する事を目的とする。
0220082A2	生徒指導・進路指導論 (A)	山本 桂子	非常勤講師	前期 火曜日 9・10時限 N 2 0 2	講義	2年次以上	2時間	2単位	生徒指導及び進路指導・キャリア教育は、自己を生かす能力を養い、自己実現のできる生き方を目指す“生き方指導”であり、児童生徒の「生きる力」の育成を図る上で、重要な教育機能を持つ活動である。本授業では、生徒指導及び進路指導・キャリア教育の意基礎理論と方法・技術を概説し、開発的な視点と予防的・課題解決的な視点から、生徒が自分と社会を知り、社会の中でいかに生きるかを見定めていくための支援をどのように行うことができるか、具体的な事例もふまえて、その援助と指導の方法を学ぶ。 注：教科書使用
0220083A2	生徒指導・進路指導論 (B)	山本 桂子	非常勤講師	後期 木曜日 7・8時限	講義	2年次以上	2時間	2単位	生徒指導及び進路指導・キャリア教育は、自己を生かす能力を養い、自己実現のできる生き方を目指す“生き方指導”であり、児童生徒の「生きる力」の育成を図る上で、重要な教育機能を持つ活動である。本授業では、生徒指導及び進路指導・キャリア教育の意基礎理論と方法・技術を概説し、開発的な視点と予防的・課題解決的な視点から、生徒が自分と社会を知り、社会の中でいかに生きるかを見定めていくための支援をどのように行うことができるか、具体的な事例もふまえて、その援助と指導の方法を学ぶ。 注：教科書使用
0220084A2	教育相談 (A)	牧 郁子	非常勤講師	前期 月曜日 1・2時限 N 2 0 2	講義	2年次以上	2時間	2単位	日々様々な出来事の起こる学校現場で、幼児・児童・生徒の心理・発達の問題に適切に対処するには、状況を理論的にとらえ、理論的理解に基づくより効果的な対応を行う必要がある。こうしたことから本講義では、幼児・児童・生徒の心理・発達の諸問題に関する理論および対応の基礎を、具体例も用いながら講義する。
0220085A2	教育相談 (B)	上田 裕美	非常勤講師	後期 木曜日 1・2時限	講義	2年次以上	2時間	2単位	カウンセリングの基礎的理論について解説しながら、教員が行う教育相談の意義とその実際について講義する。また、児童・生徒の心理発達の諸問題に関する心理学的理解と対応の基礎について、解説とグループワークを通して理解を深める。さらに、学校内外の資源との連携による援助の具体例を取り上げ、児童生徒を支えるチーム援助のあり方について考察する。
0220087D4	教育実習Ⅰ (中・高)	小野寺 香.保田卓.二井 仁美	文学部 他	不定期集中 その他	実習	4年次以上(中高免許)	集中	2単位	本学附属中等教育学校、もしくは母校等委託校において学校教育活動全般の実習を行う。特に授業については教材・指導案の作成、授業等の一連の授業実践についての指導を行う。
0220088D3	教育実習Ⅱ (中・高)	小野寺 香.保田卓.二井 仁美	文学部 他	不定期集中 その他	実習	3年次以上(中免許)	集中	2単位	本「教育実習Ⅱ」は、3年次に本学附属中等教育学校において行われ、授業観察や教科外活動の指導・援助を中心に、学校教育活動全体に関わる各種の実習を行う。
0220089D4	事前・事後指導 (中・高)	小野寺 香.保田卓.二井 仁美	文学部 他	不定期集中 その他	実習	4年次以上(中高免許)	集中	1単位	○事前指導として、教育実習の意義についての指導及び実地実習に際しての具体的指導を大学及び実習校で行い、また教育実践場面に関わる学習として学校参観、授業観察を行う。 ○事後指導として、授業を中心とした教育実践についての指導会において、実習の成果・課題をふまえ、教職を目指すにあたっての指導を行う。
0220096D4	栄養教育実習	稲井 玲子	生活環境学部	不定期集中 その他	実習	4年次以上	集中	1単位	本学附属小学校、奈良市立小学校、あるいは母校等委託校において栄養教育の実習を行うことを目的とする。実習校における各学級および各学年の教育活動の観察、指導実習を通して、食教育に必要な基礎的知識と技術修得のための指導支援を行う。
0220097D3	事前・事後指導 (栄養)	稲井 玲子	生活環境学部	不定期集中 その他	実習	3年次以上	集中	1単位	事前指導として、教育実習の意義についての指導および実地実習に際しての具体的指導を大学および実習校で行い、教育実践場面に関わる学校参観、授業観察の機会を設ける。 事後指導として、授業を中心とした栄養教育実践についての指導において、実習の成果・課題をふまえ、教職を目指すにあたっての指導支援を行う。
0220098D3	事前・事後指導 (栄養教育実習)	稲井 玲子	生活環境学部	不定期集中 その他	実習	3年次以上	集中	1単位	事前指導として、教育実習の意義についての指導および実地実習に際しての具体的指導を大学および実習校で行い、教育実践場面に関わる学校参観、授業観察の機会を設ける。 事後指導として、授業を中心とした栄養教育実践についての指導において、実習の成果・課題をふまえ、教職を目指すにあたっての指導支援を行う。
0220100B4	教職実践演習 (中・高)	小野寺 香.北尾悟.保田卓.二井 仁美	文学部 他	後期集中 その他	演習	4年次以上	集中	2単位	教職担当教員の指導の下に、教育実習の事後指導において履修者が確認した「教員としての課題」を踏まえ、附属中等教育学校の見学、生徒指導の前提となる生徒の観察と理解に関する討論などを通じて、教員としての責任について各自の自覚を深める。ついで教科の指導について各自の不足した点を補うため、グループワークによって授業計画を立案し、模擬授業の演習を行う。教科担当教員や附属学校教員の指導の下で、メンバーが協力しながら教材研究や指導案作成を進め、発表会において成果を確認する。並行して履修カルテに基づく個人指導を行う。
0220101B4	教職実践演習 (栄養)	稲井 玲子	生活環境学部	後期集中 その他	演習	4年次以上	集中	2単位	教育実習の事後指導における「教員としての課題」を踏まえ、附属小学校校の見学、生徒指導の前提となる生徒の観察と理解に関する討論などを通じて、教員としての責任について各自の自覚を深めることを目的とする。また、グループワークで授業計画を立案し、模擬授業の演習を行い、食の指導スキル向上を図る。なお、本演習では、教科担当教員や附属学校教員の指導の下で、メンバーが協力しながら教材研究や指導案作成を進め、発表会において成果を確認する。
0230001E1	博物館概論	岩井 共二	非常勤講師	前期集中 その他 G 1 0 1	複合	1年次以上	集中30時間	2単位	私たちが博物館・美術館等を訪れた際に目にするのは、通常その陳列に限られる。しかし博物館業務は陳列のみならず、収集・管理・研究・調査・特別展企画など多岐に渡る。本講義では、博物館とはなにか、その種類と歴史を具体的に考察し、博物館の活動の実状と今後の在り方について多角的な観点から考えてみることにする。

【全学共通科目】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
0230002E1	博物館教育論	山口 隆介	非常勤講師	前期集中 その他 その他	複合	1年次以上	集中30時間	2単位	博物館展示の理念と歴史、展示の諸形態を学び、展示の理論と方法に関する基本的な知識や技術を習得し、博物館における展示の果たす役割とその意義を理解する。
0230003E2	博物館資料論	宮路 淳子・佐藤 有希子	文学部	前期 火曜日 7・8時限 N 1 0 1	複合	2年次以上	2時間	2単位	私たちが博物館・美術館等を訪れた際に目にするのは、通常その陳列に限られる。しかし博物館の業務は陳列のみならず、収集・管理・研究・調査・特別展企画など多岐に渡る。本講義では、その様々な仕事について「資料」という観点から具体的に講義をする。講義では、主に美術作品あるいは歴史考古遺物を取り上げるが、適宜より広い範囲の事物についても言及したい。
0230004E2	博物館資料保存論	宮路 淳子・佐藤 有希子	文学部	後期 水曜日 3・4時限	複合	2年次以上	2時間	2単位	博物館資料のうちくに文化財について、保存の観点から考察を行う。奈良・京都は文化財の宝庫である。そこで本講義前半では、これまで文化財がどのように保存保管されてきた、実例に則しながら、その歴史と現状を紹介する(知識・理解)。あわせて歴史の中で失われた文化財について考える(態度・志向性)。後半では科学的な視座から文化財の保存について、技術的な観点からその修復について考察を加える(汎用的技能)。 (注) 平成24年度以降入学の2回生以上対象科目(平成24年度以降入学編入学生・平成24年度以降入学大学院博士前期課程を含む)
0230005E2	博物館展示論	石田 忽・佐久間 大輔・説田 晃大・田中 裕子・宮路 淳子・佐藤 有希子	非常勤講師 他	後期集中 その他 その他	複合	2年次以上	集中30時間	2単位	博物館における展示について、知識と技術を習得する。授業のなかで大学近郊および近府県の博物館・美術館を見学する。実施日時は見学先の展覧会開催時期によって変わるので掲示に注意すること。
0230006E2	博物館経営論	岩井 共二	非常勤講師	後期集中 その他 その他	複合	2年次以上	集中30時間	2単位	観覧者としてではなく、博物館を管理運営するという観点から博物館を見直してみる。そこには現代社会の様々な問題がかかっていることに気づく。全国的に見れば、予算削減により運営に苦しむ博物館が数多く存在する。また、単に金銭的な経営の問題だけではなく、地震や水害による被災など、博物館のリスクマネジメントの問題などについても考察する。博物館が持続的に存続できるか。それを決めるのが経営であることを学ぶ。講義の過程で、大学近隣の奈良国立博物館で開催中の展覧会を見学し、展示の在り方や、施設の充実などを実見し、それについて受講生一人ひとりが考え感じる機会を設けたい。
0230007E2	博物館情報・メディア論	呉 孟晋	非常勤講師	後期集中 その他 その他	複合	2年次以上	集中30時間	2単位	文化財を扱う博物館の活動を「情報」と「メディア」を切り口にして紹介する。文化財にはどのような情報があり、そしてそれをどのように提示するのか。博物館はどのようにして情報を媒介して伝達するメディアとしての役割を果たすのか。講師がかつて勤務していた京都国立博物館を具体的な事例として、博物館での収蔵品の展示や展覧会の企画から、デジタル時代における博物館の情報収集とその発信について考えてゆく。
0230008D3	博物館実習Ⅰ	宮路 淳子・佐藤 有希子	文学部	不定期集中 その他 その他	実習	3年次以上	集中	1単位	博物館を見学し、各博物館の設定するテーマと領域について豊かな知識を獲得、理解し(知識・理解)、それを基に博物館資料・展示・教育各論に即して検討し、報告をまとめる(汎用的技能)。受講生は掲示等に注意すること。
0230009D3	博物館実習Ⅱ	六車 美保	非常勤講師	前期集中 その他 別記 G 1 0 1	実習	3年次以上	集中	1単位	博物館学芸員の多岐に渡る活動(資料収集・研究・整理・保存・展示・社会貢献)について、実践的な実習を通して理解を深める。また、奈良女子大学所蔵資料を用いて、資料の取り扱いの基本を学ぶ。
0230010D4	博物館実習Ⅲ	宮路 淳子・佐藤 有希子	文学部	不定期集中 その他 その他	実習	4年次以上	集中	1単位	登録学生は学外の博物館相当施設にて実習を行う。実習期間は実習先の各館が定める時期と期間とする。
0230102A1	学校図書館メディアの構成	山本 貴子	非常勤講師	前期集中 その他 その他 A棟情報処理教育室・前期集中 その他 その他 N 2 0 1	講義	1年次以上	集中30時間	2単位	学校図書館メディア・センターでの資料管理について、以下の講義・演習を行う。 (1)資料選択と利用： 選択理論をおさえながら、学校図書館でどのように利用できるかを学習する。 (2)資料組織化の実習： 学校図書館メディア・センターにはどのような資料を所蔵するのか、それをどのように分類・目録化し、データベース化するのかの基本を学び、実習する。
0230104A1	読書と豊かな人間性	渡邊 良枝	非常勤講師	後期 水曜日 9・10時限	講義	1年次以上		2単位	この科目においては、学校図書館の目的と機能を生かし、読書の意義と目的、児童生徒の読書習慣の形成、実態について理解したうえで、発達段階に応じた読書指導、子どもと本を結ぶための方法、図書の種類と活用方法等を学び、学校教育における全教職員による読書指導の理解を図り、自ら実践する司書教諭としての資質を養う。
0230105A1	情報メディアの活用	高嶽 裕樹	非常勤講師	後期 月曜日 9・10時限	講義	1年次以上		2単位	学校もしくは学校図書館で活用すべき情報メディアについて、その活用方法を理解する。すなわち、情報を収集し、分析する際に必要な手法について学んだうえで、コンテンツを作成し公開する方法についても技能を習得する。